

令和 5（2023）年度 住民意識調査結果報告書

令和 6（2024）年 3 月

高根沢町

目次

第1章 住民意識調査結果の概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査概要.....	1
(1) 調査対象.....	1
(2) 調査期間.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 調査票.....	1
(5) 有効回収率等.....	1
(6) その他.....	1
第2章 回答者について.....	2
1. 性別.....	2
2. 年齢.....	2
3. 世帯構成.....	2
4. 居住区域.....	3
5. 居住地（学区）.....	3
第3章 住みやすさ、定住意向、愛着度について.....	4
1. 町の住みやすさ.....	4
(1) 全体傾向.....	4
(2) 属性別傾向.....	4
2. 今後の定住意向.....	7
(1) 全体傾向.....	7
(2) 属性別傾向.....	7
3. 町への愛着度.....	10
(1) 全体傾向.....	10
(2) 属性別傾向.....	10
(3) 町に対する愛着度の変化.....	13
第4章 後期計画の取組に対する実感度・重要度・評価について.....	14
1. 後期計画の取組に対する実感度・重要度.....	14
(1) 各取組の結果.....	14
(2) 実感度が高い取組.....	20
(3) 「実感している」・「実感していない」の割合.....	21
(4) 重要度が高い取組.....	22
(5) 「重要」・「非重要」の割合.....	23
(6) 後期計画の取組に対する実感度・重要度のクロス分析.....	24

2.	後期計画の取組（分野別）に対する評価.....	25
(1)	子ども・教育・生涯学習分野に関する評価.....	25
(2)	健康・サポート分野に関する評価.....	27
(3)	魅力・活力分野に関する評価.....	28
(4)	環境・社会基盤分野に関する評価.....	30
(5)	安全・安心分野に関する評価.....	31
(6)	マネジメント分野に関する評価.....	32
第5章	今後のまちづくりについて.....	33
1.	高根沢町に求めるまちの姿.....	33
(1)	全体傾向.....	33
(2)	属性別傾向.....	35
2.	今後優先して取り組むべき項目.....	36
(1)	子ども・教育・生涯学習分野.....	36
(2)	健康・サポート分野.....	37
(3)	魅力・活力分野.....	39
(4)	環境・社会基盤分野.....	40
(5)	安全・安心分野.....	41
(6)	マネジメント分野.....	42
3.	これからのまちづくりに関する提案について.....	43
巻末資料	「住民意識調査 調査票」.....	51

第1章 住民意識調査結果の概要

1. 調査目的

町では、平成28年2月に策定した「高根沢町地域経営計画2016」に基づき、町政運営を進めてきました。

今回、計画期間が令和7年度で終了しますので、新たに策定する地域経営計画（※令和8年度からスタート）の検討をはじめました。

計画の検討に際しては、町民の皆さんのご意見を十分に反映した計画にすることが重要であるため、「高根沢町地域経営計画2016 後期計画」（以下「後期計画」という。）に基づいて行ってきたまちづくりに対する評価や、今後優先すべき施策等に関して、意識調査を実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査対象

住民基本台帳から年齢及び学区ごとに無作為抽出した満18歳以上の町民2,500人

(2) 調査期間

令和5（2023）年12月1日（金）～12月22日（金）

(3) 調査方法

郵送・Web回答方式併用（調査票を郵送、回答は郵送またはWebによる）

(4) 調査票

本報告書の巻末を参照

(5) 有効回収率等

回収数 1,100件（郵送回答790件、Web回答310件）

有効回収数 1,099件

有効回収率 43.9%

※前回（令和元年度調査） 回収率：45.3%

※前々回（平成25年度調査） 回収率：44.4%

(6) その他

比率は、端数処理の関係で、合計が100%にならないケースもあります。

（*小数点第2位以下切捨て）

第2章 回答者について

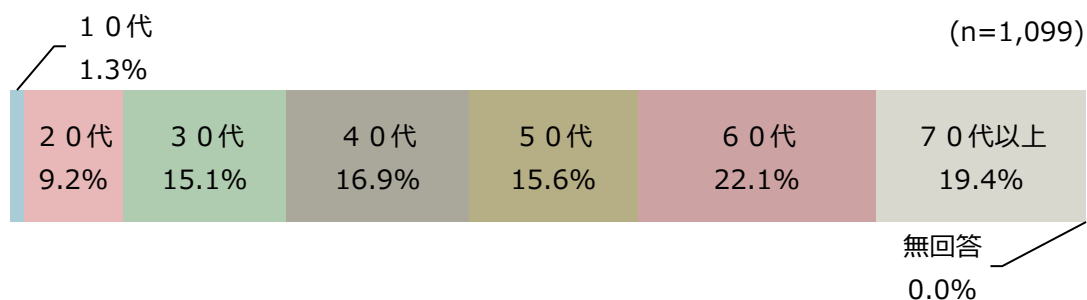
1. 性別

回答者の性別は、「男性」が45.9%、「女性」が51.0%であり、「女性」の回答率が「男性」を5.1ポイント上回りました。



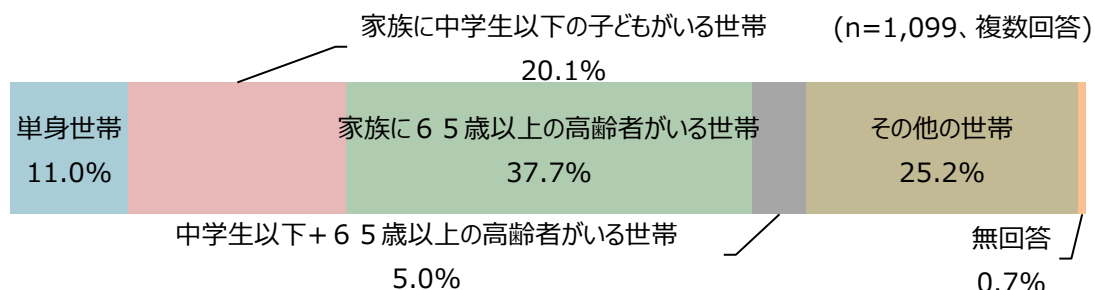
2. 年齢

「60代」が22.1%と最も高く、次いで「70代以上」が19.4%、「40代」が16.9%となりました。なお、全体の約1割が「10代」と「20代」となっています。



3. 世帯構成

「家族に65歳以上の高齢者がいる世帯」が37.7%と最も高く、次いで「その他の世帯」が25.2%、「家族に中学生以下の子どもがいる世帯」が20.1%となりました。



4. 居住区域

「市街化区域」が63.8%、「市街化調整区域」が35.0%であり、「市街化区域」が「市街化調整区域」を28.8ポイント上回りました。

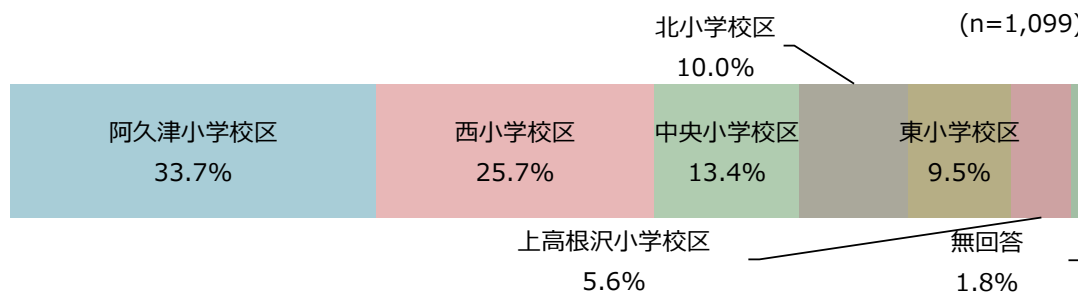
(n=1,099)



5. 居住地（学区）

「阿久津小学校区」が33.7%と最も高く、次いで「西小学校区」が25.7%、「中央小学校区」が13.4%となりました。

(n=1,099)



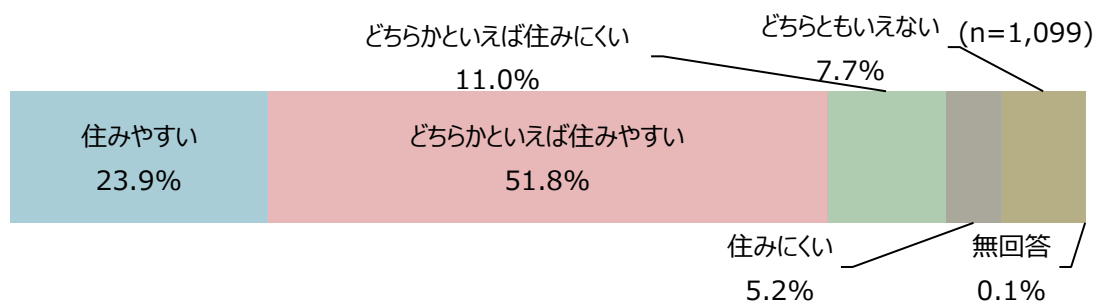
第3章 住みやすさ、定住意向、愛着度について

1. 町の住みやすさ

(1) 全体傾向

「どちらかといえば住みやすい」が51.8%と最も高く、次いで「住みやすい」が23.9%、「どちらかといえば住みにくい」が11.0%となりました。

住みやすいと感じている方が7割強を占めました。



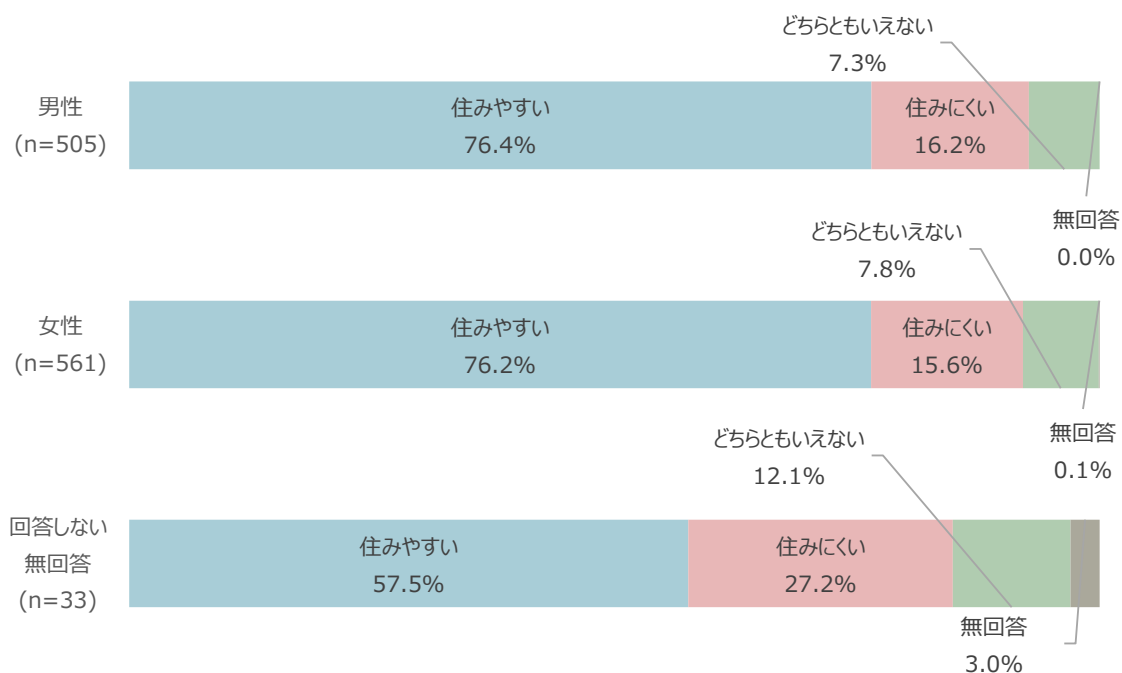
(2) 属性別傾向

① 性別

「住みやすい」※1が男性76.4%、女性76.2%、「住みにくい」※2が男性16.2%、女性15.6%と、性別による住みやすさに大きな差はみられませんでした。

※1 「住みやすい」 = 「住みやすい」 + 「どちらかといえば住みやすい」

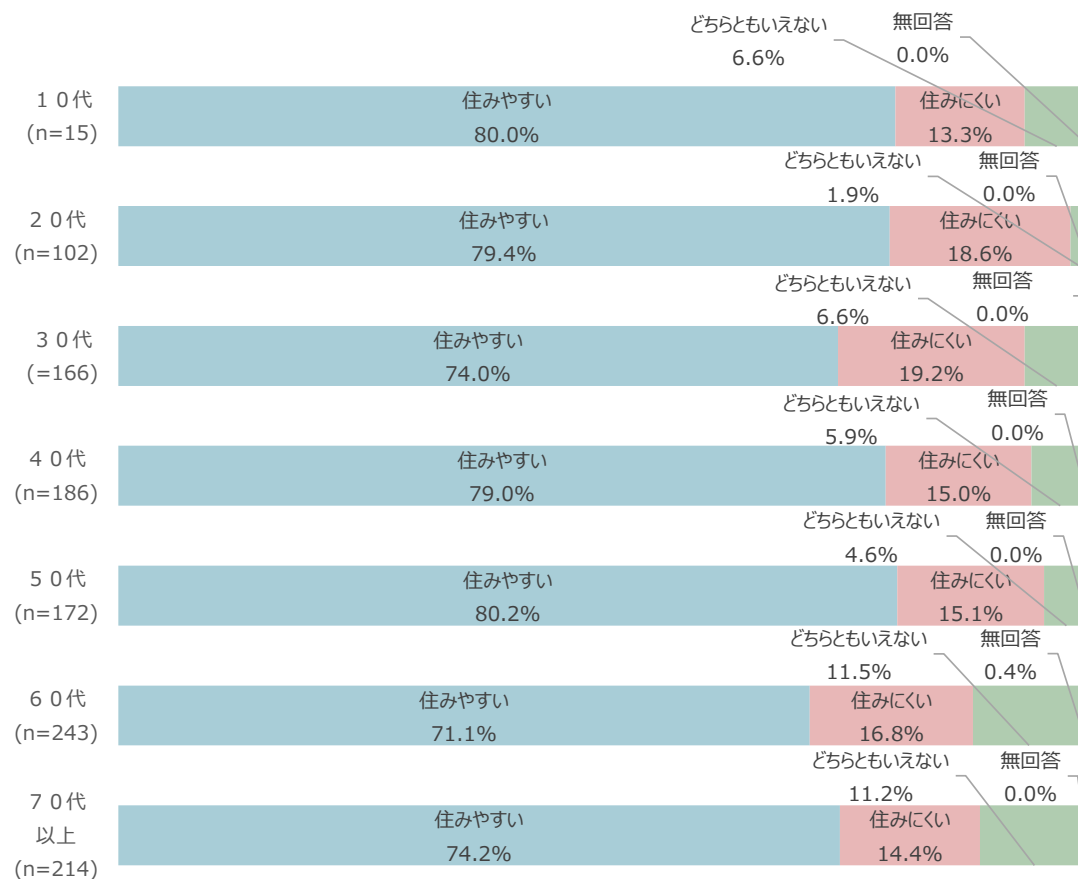
※2 「住みにくい」 = 「住みにくい」 + 「どちらかといえば住みにくい」



②年齢

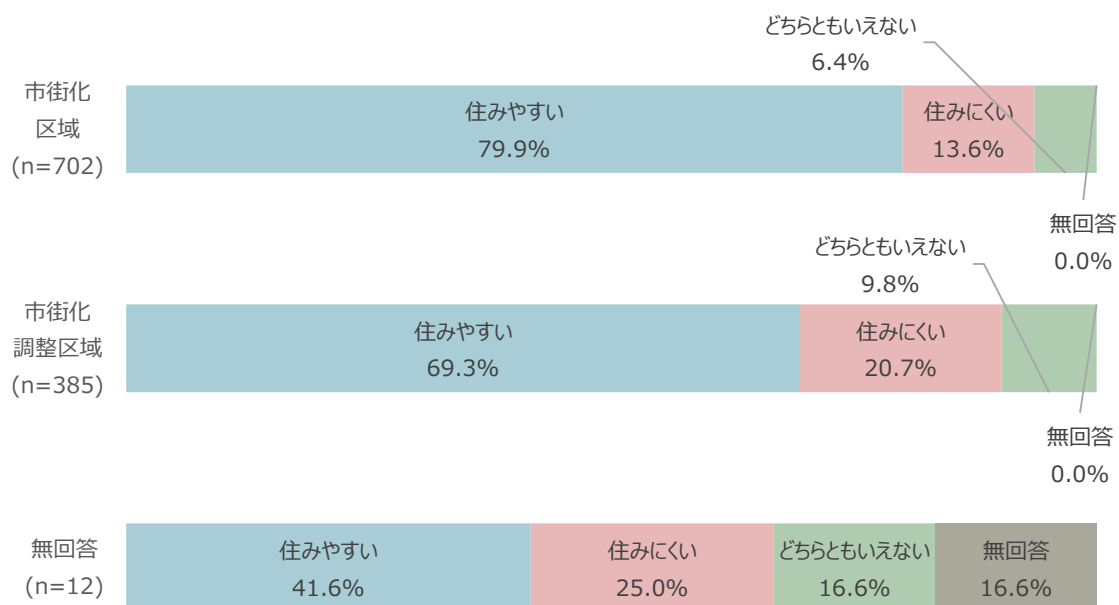
「住みやすい」と回答した割合は 50 代が 80.2%と最も高く、次いで 10 代が 80.0%、20 代が 79.4%でした。

「住みにくい」と回答した割合は 30 代が 19.2%と最も高く、次いで 20 代が 18.6%、60 代が 16.8%でした。



③居住区域

「住みやすい」が市街化区域 79.9%、市街化調整区域 69.3%、「住みにくい」が市街化区域 13.6%、市街化調整区域 20.7%であり、居住地（区域）によって住みやすさに差があることが分かりました。

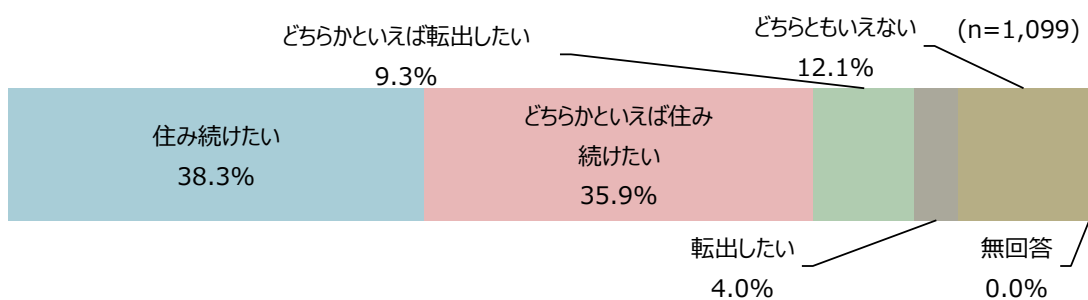


2. 今後の定住意向

(1) 全体傾向

「住み続けたい」が38.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が35.9%、「どちらともいえない」が12.1%となりました。

定住意向のある方が7割強を占めました。



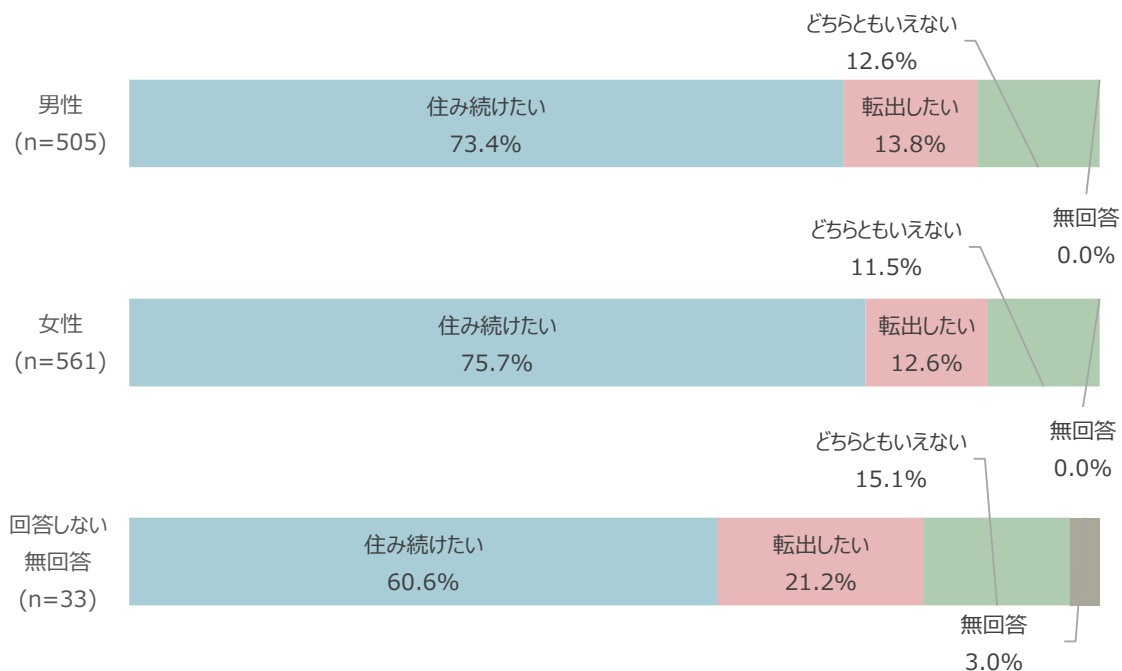
(2) 属性別傾向

① 性別

「住み続けたい」※3が男性73.4%、女性75.7%、「転出したい」※4が男性13.8%、女性12.6%と、性別による住みやすさに大きな差はみられませんでした。

※3 「住み続けたい」 = 「住み続けたい」 + 「どちらかといえば住み続けたい」

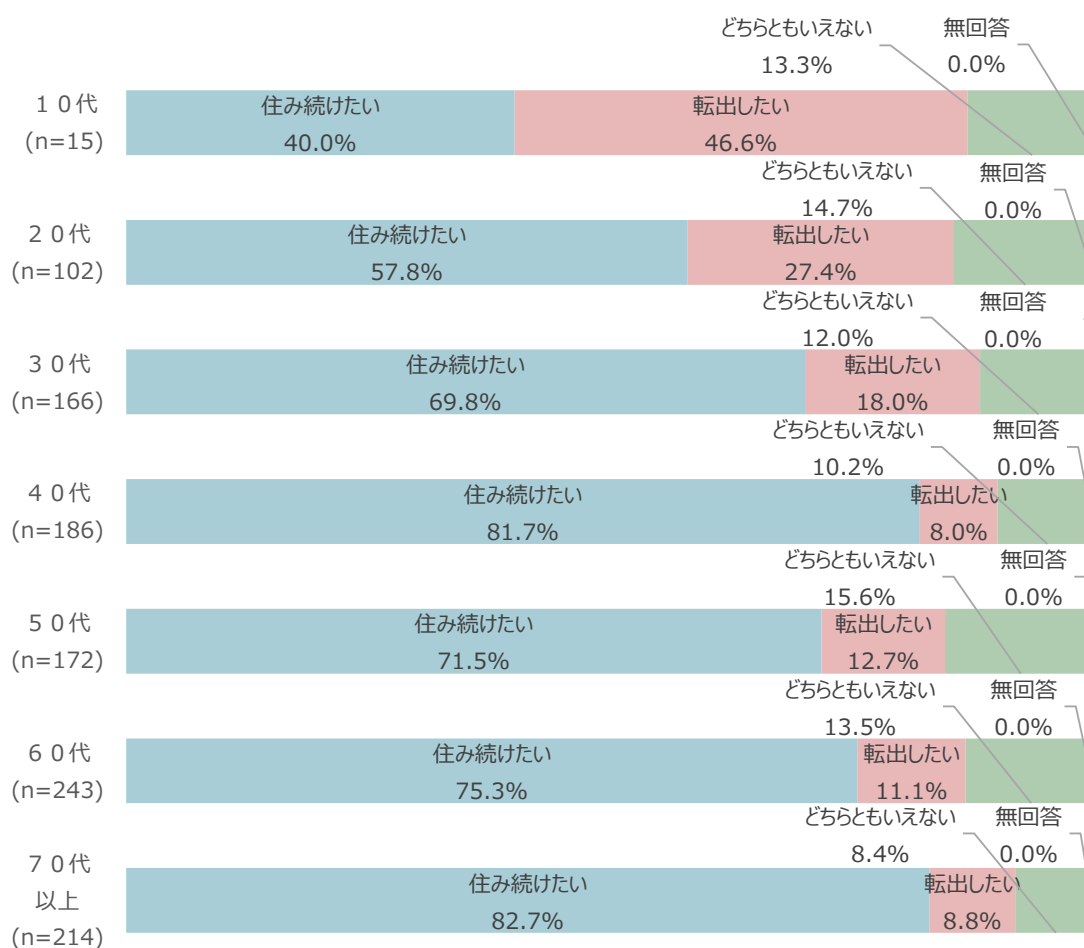
※4 「転出したい」 = 「転出したい」 + 「どちらかといえば転出したい」



②年齢

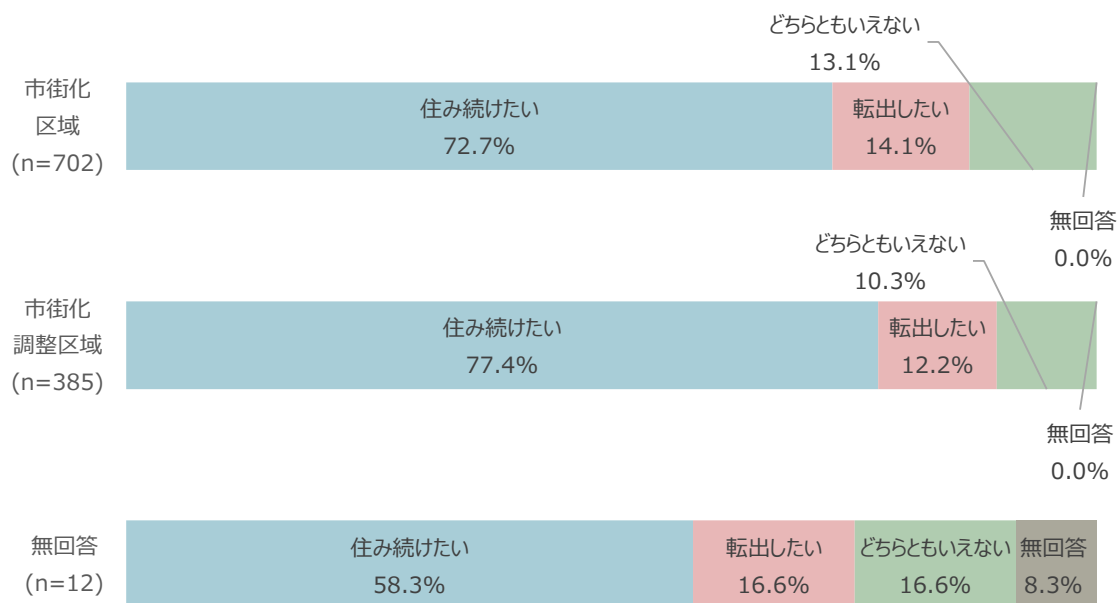
70代以上が82.7%で最も高く、次いで40代が81.7%、60代が75.3%となりました。

20代以上の全ての年代で、「住み続けたい」と回答した人の割合が「転出したい」と回答した人の割合を上回りましたが、10代では「住み続けたい」と回答した人の割合が「転出したい」と回答した人の割合を下回りました。



③居住区域

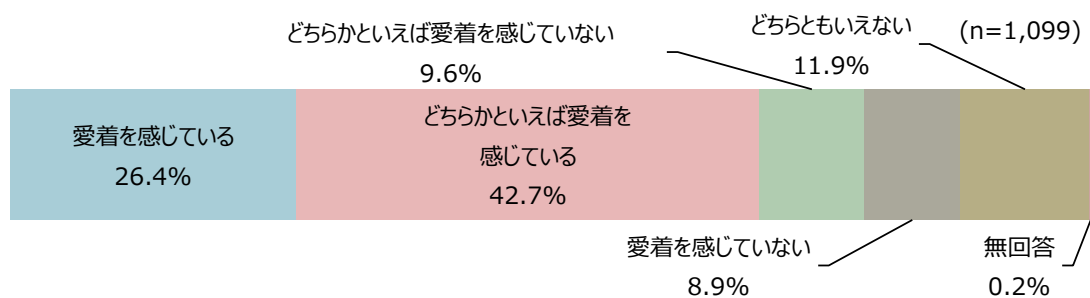
「住みたい」と回答した割合は市街化調整区域が 77.4%と市街化区域（72.7%）を 4.7 ポイント上回りました。



3. 町への愛着度

(1) 全体傾向

「どちらかといえば愛着を感じている」が42.7%と最も高く、次いで「愛着を感じている」が26.4%、「どちらかといえば愛着を感じていない」が9.6%となりました。愛着を感じている方が7割弱を占めました。



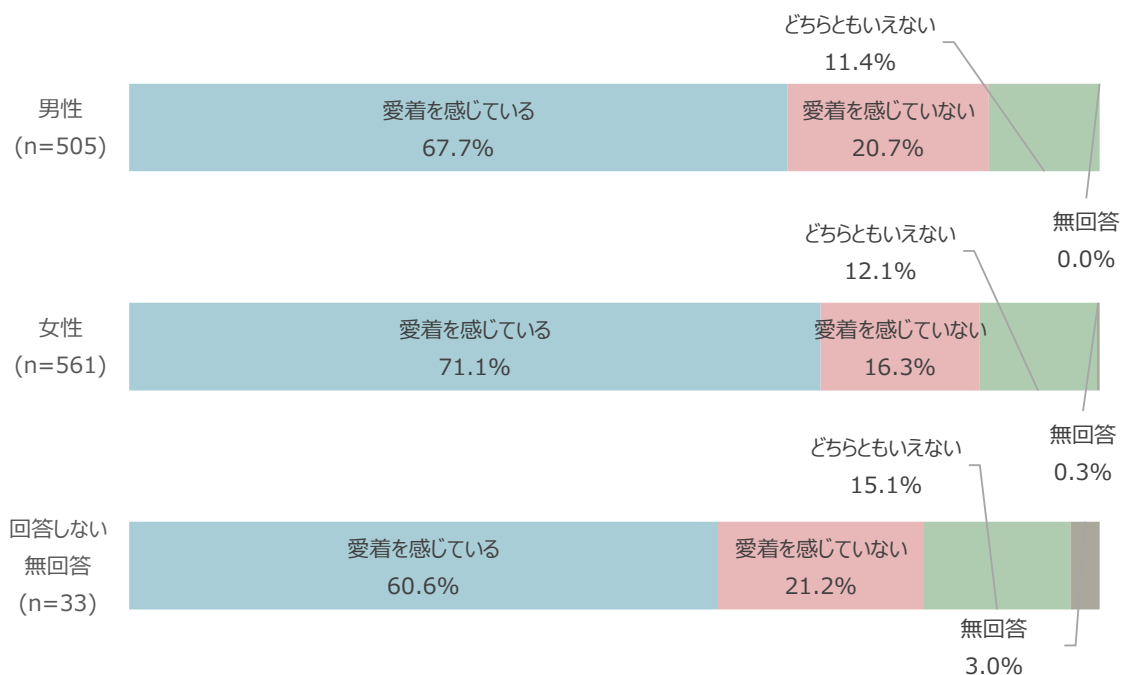
(2) 属性別傾向

①性別

「愛着を感じている」※5が男性67.7%、女性71.1%、「愛着を感じていない」※6が男性20.7%、女性16.3%と、男性と女性を比較すると町への愛着度は女性が3.4ポイント高いことが分かりました。

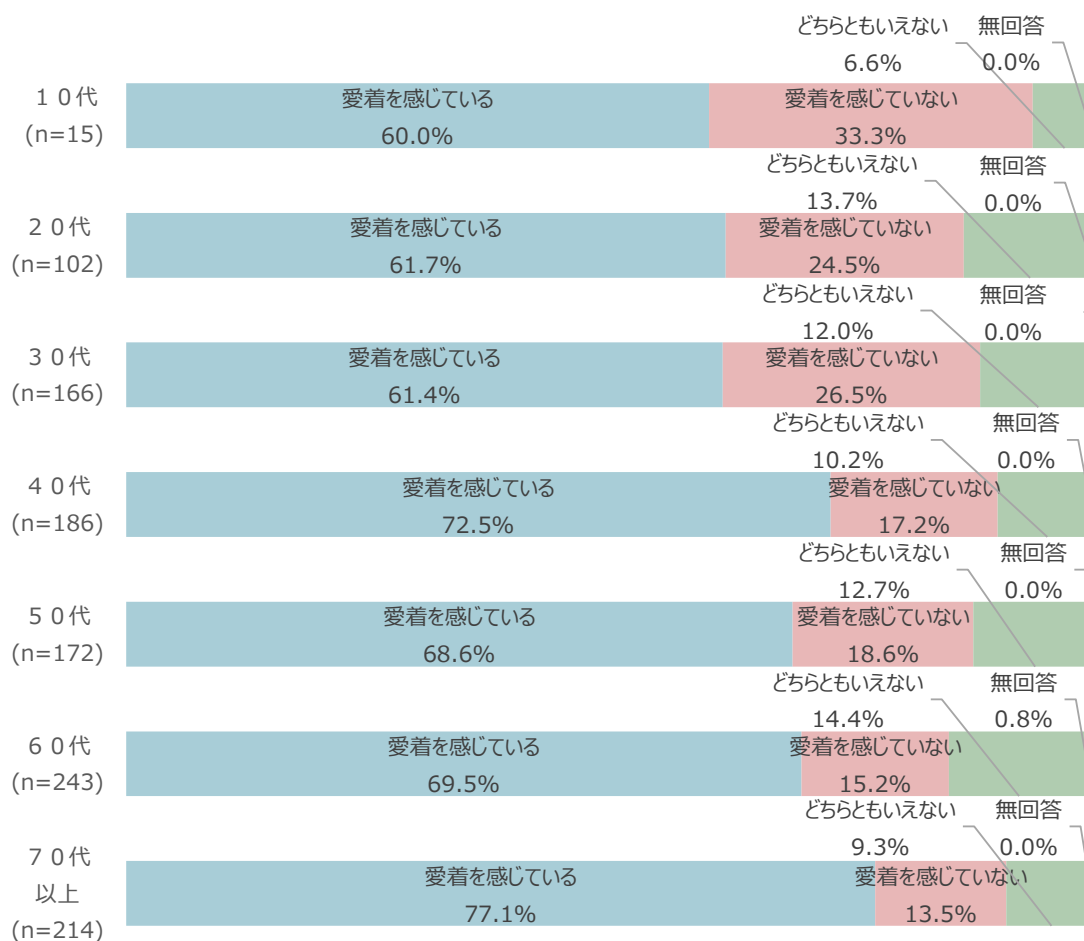
※5 「愛着を感じている」 = 「愛着を感じている」 + 「どちらかといえば愛着を感じている」

※6 「愛着を感じていない」 = 「愛着を感じていない」 + 「どちらかといえば愛着を感じていない」



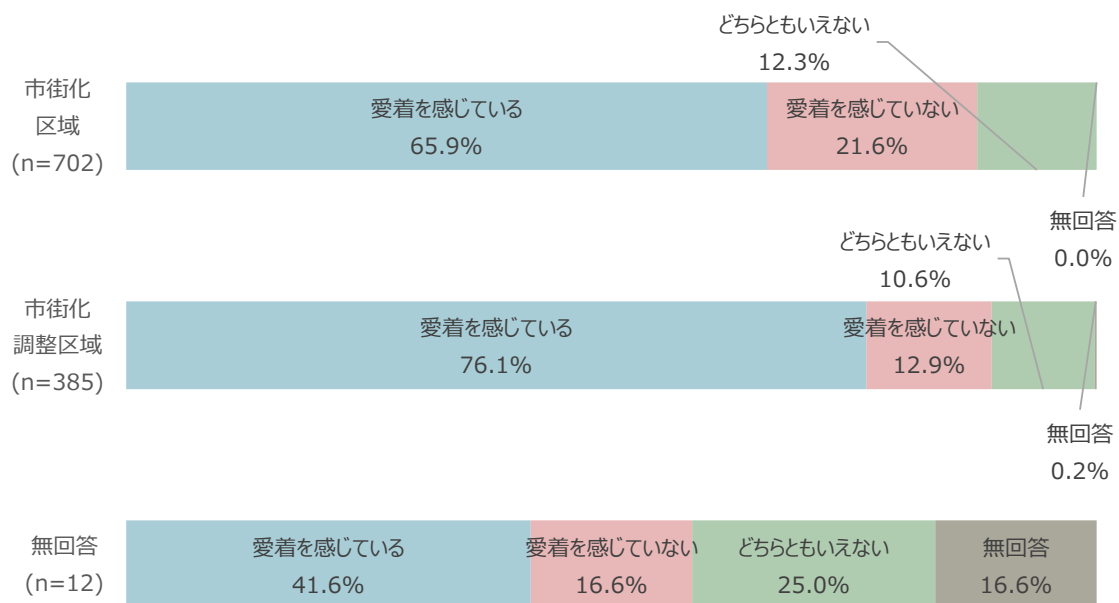
②年齢

全ての年代で「愛着を感じている」と回答した人の割合は、「愛着を感じていない」と回答した人の割合を上回りました。



③居住区域

「愛着を感じている」と回答した割合は市街化調整区域が76.1%と市街化区域(65.9%)を10.2ポイント上回りました。

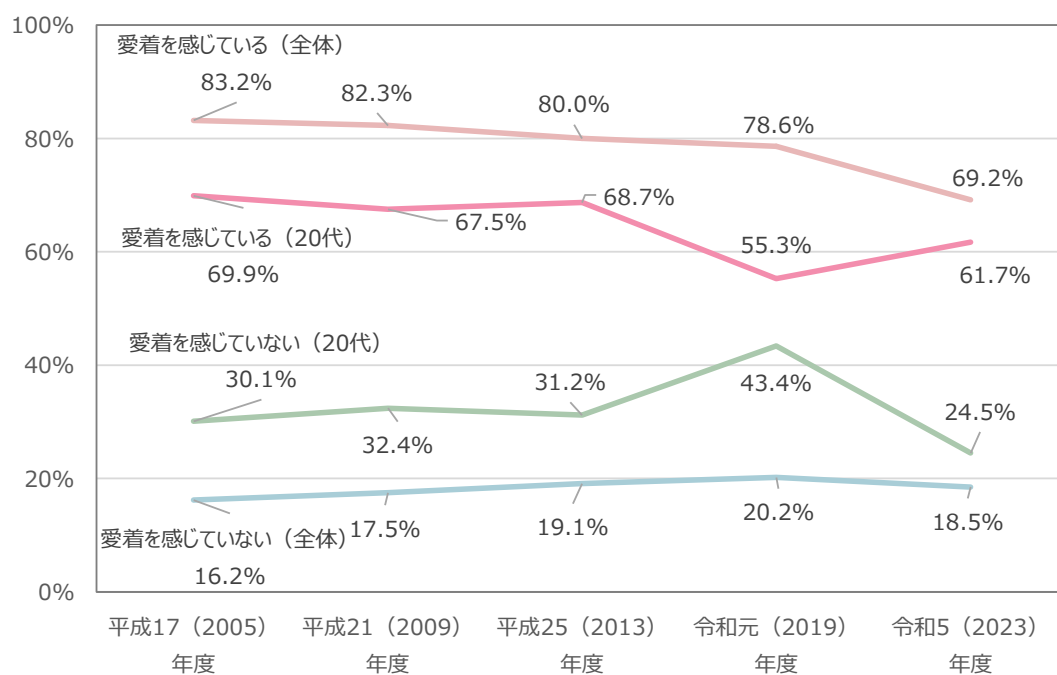


(3) 町に対する愛着度の変化

これまで行ってきた住民意識調査の愛着度を比較すると、「愛着を感じている」と回答した割合は減少傾向にあり、令和元（2019）年度と比較すると令和5（2023）年度が9.4ポイント下回りました。但し、今回の調査では回答に「どちらともいえない」の選択肢を追加したことにより、「愛着を感じている」とした割合が令和元（2019）年度と比較して減少した可能性も考えられます。20代をみると、全体よりも低いものの令和元（2019）年度と比較すると令和5（2023）年度が6.4ポイント上回りました。

「愛着を感じていない」と回答した割合は全体ではほぼ横ばいでした。20代では、令和元（2019）年度と比較すると令和5（2023）年度が18.9ポイント下回り、愛着を感じていないとする20代の割合が減少したことが分かりました。

	平成17 (2005) 年度	平成21 (2009) 年度	平成25 (2013) 年度	令和元 (2019) 年度	令和5 (2023) 年度	直近2回調査 の比較
愛着を感じている (全体)	83.2%	82.3%	80.0%	78.6%	69.2%	▲9.4ポイント
愛着を感じている (20代)	16.2%	17.5%	68.7%	55.3%	61.7%	6.4ポイント
愛着を感じていない (全体)	69.9%	67.5%	19.1%	20.2%	18.5%	▲1.7ポイント
愛着を感じていない (20代)	30.1%	32.4%	31.2%	43.4%	24.5%	▲18.9ポイント



第4章 後期計画の取組に対する実感度・重要度・評価について

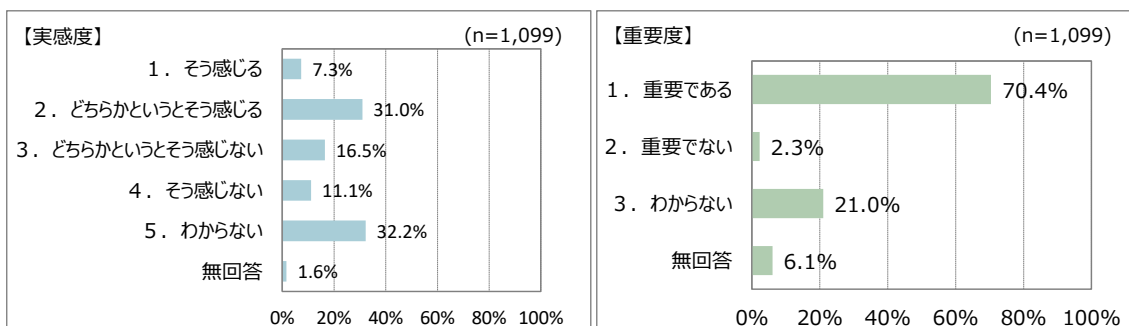
1. 後期計画の取組に対する実感度・重要度

(1) 各取組の結果

質問1：「安心して産み、子育てができるまち」ですか。

「実感している」（「そう感じる」＋「どちらかというそう感じる」、以下同様。）が38.3%、「実感していない」（「そう感じない」＋「どちらかというそう感じない」、以下同様。）が27.6%でした。

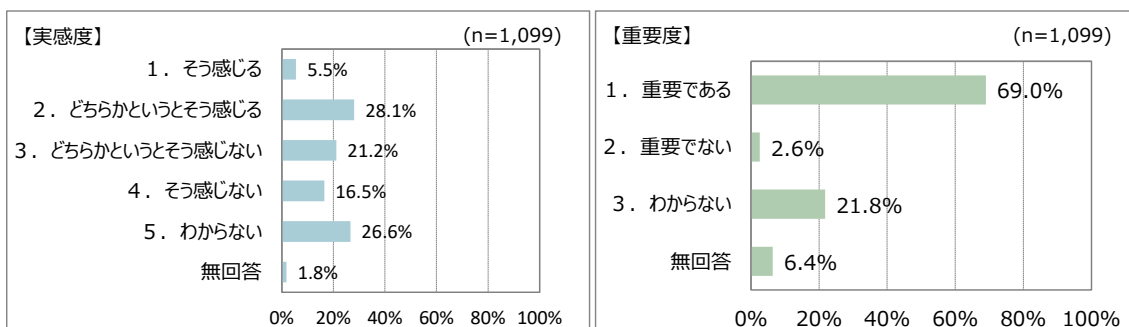
「重要である」は70.4%、「重要でない」は2.3%でした。



質問2：「子育てに適した生活環境で、生涯にわたり住み続け・働けるまち」ですか。

「実感している」が33.6%、「実感していない」が37.7%でした。

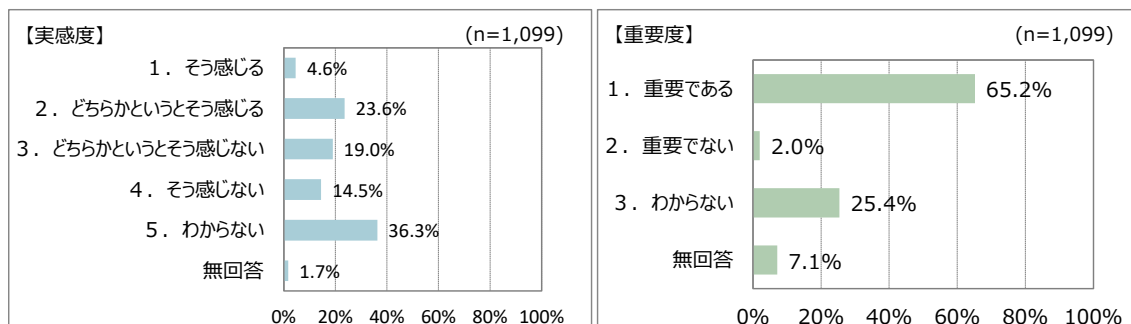
「重要である」は69.0%、「重要でない」は2.6%でした。



質問3：「未来を創る子どもたち」を育てる取り組みが進んでいますか。

「実感している」が28.2%、「実感していない」が33.5%でした。

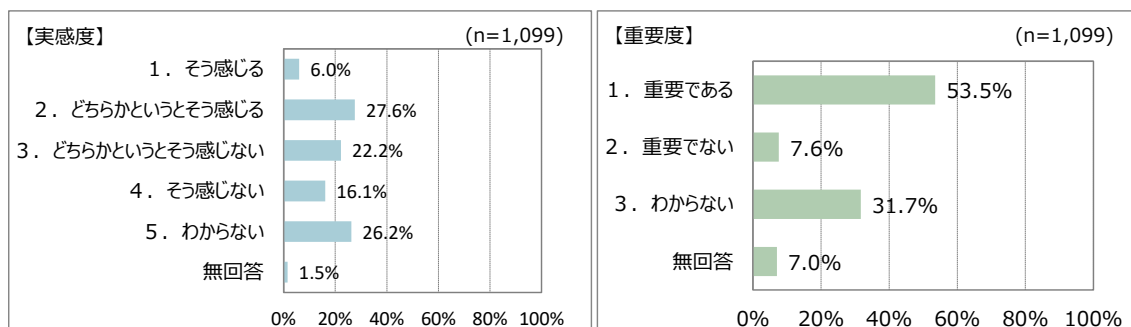
「重要である」は65.2%、「重要でない」は2.0%でした。



質問4：「生涯学習・文化・スポーツ」を振興できていますか。

「実感している」が33.6%、「実感していない」が38.3%でした。

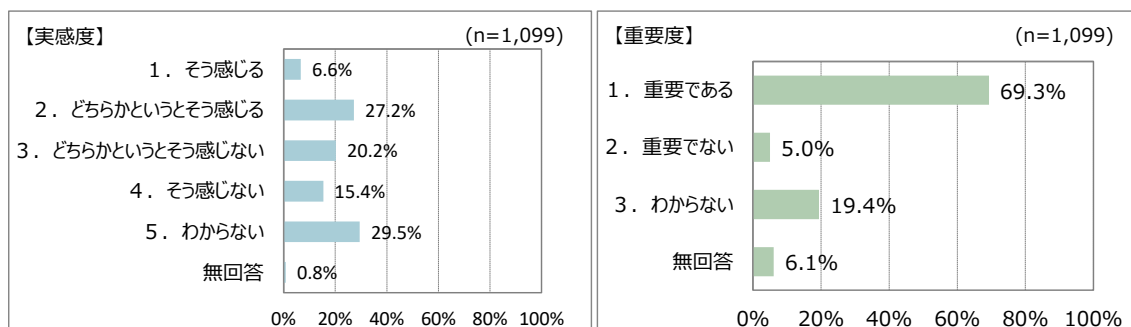
「重要である」は53.5%、「重要でない」は7.6%でした。



質問5：「高齢者がいきいきと暮らせる社会」になっていますか。

「実感している」が33.8%、「実感していない」が35.6%でした。

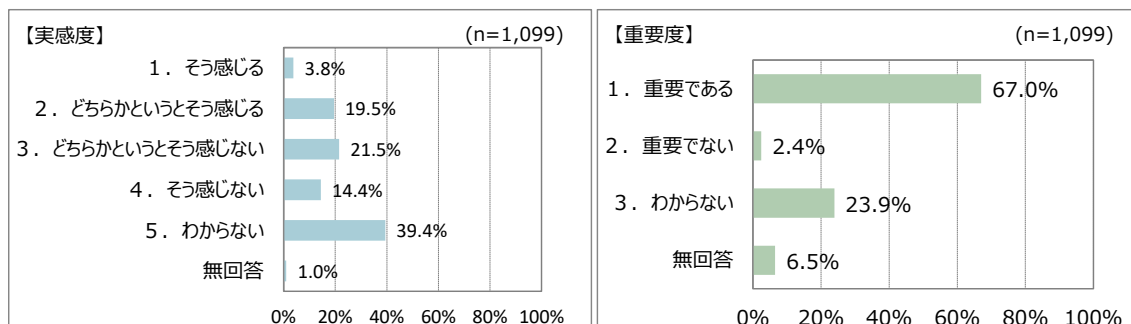
「重要である」は69.3%、「重要でない」は5.0%でした。



質問6：「自立と支えあいの共生社会」となっていますか。

「実感している」が23.3%、「実感していない」が35.9%でした。

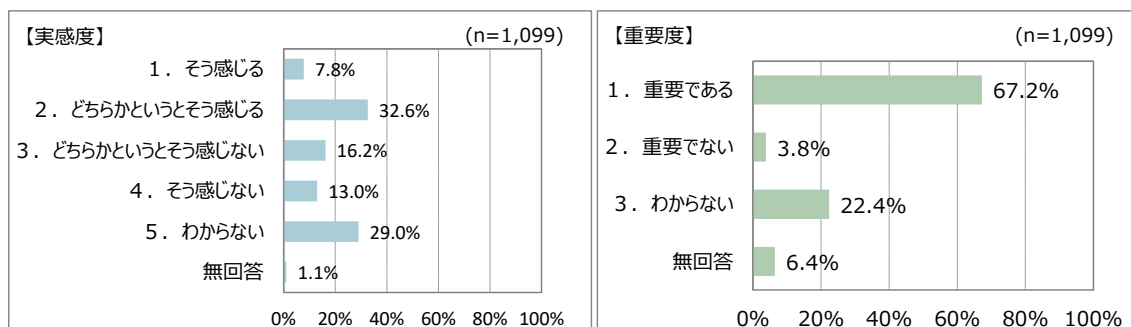
「重要である」は67.0%、「重要でない」は2.4%でした。



質問7：「健康寿命を延ばす」まちづくりが進んでいますか。

「実感している」が40.4%、「実感していない」が29.2%でした。

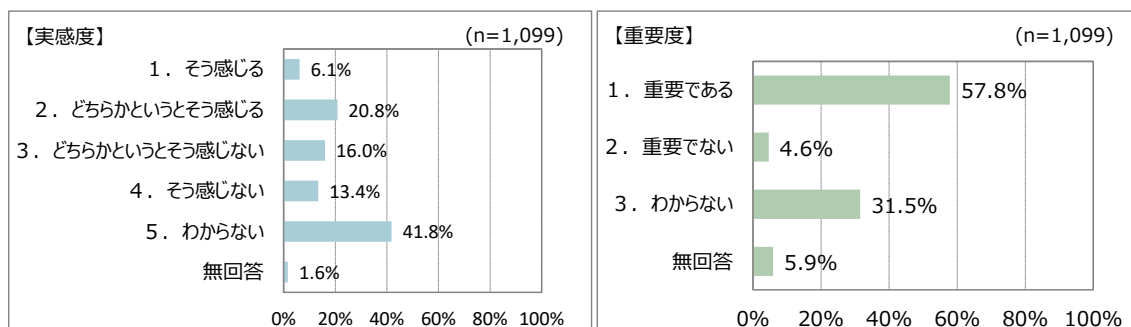
「重要である」は67.2%、「重要でない」は3.8%でした。



質問8：「活力ある農業」を振興できていますか。

「実感している」が26.9%、「実感していない」が29.4%でした。

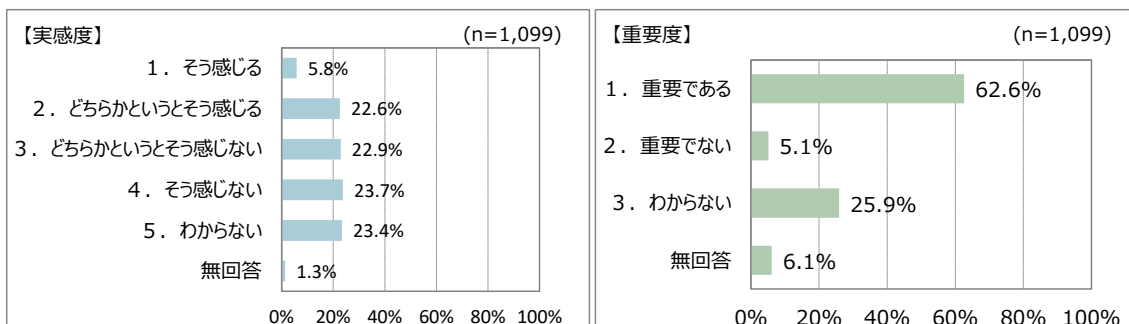
「重要である」は57.8%、「重要でない」は4.6%でした。



質問9：「魅力的なまち」ですか。

「実感している」が28.4%、「実感していない」が46.6%でした。

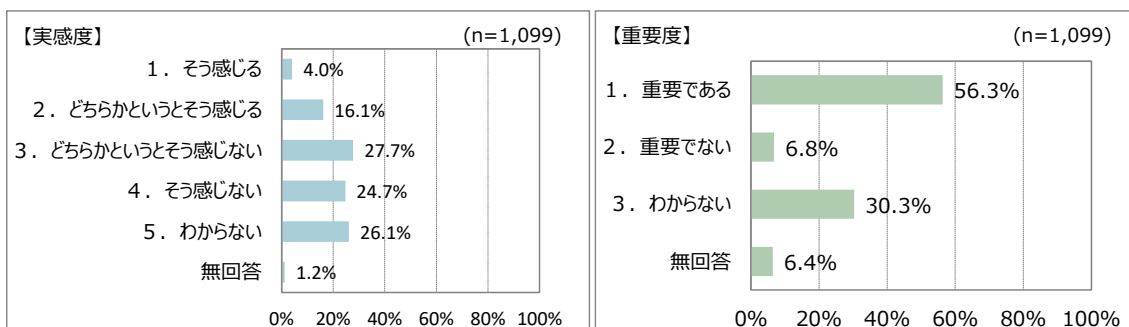
「重要である」は62.6%、「重要でない」は5.1%でした。



質問10：「情報がつながる環境」が整っていますか。

「実感している」が20.1%、「実感していない」が52.4%でした。

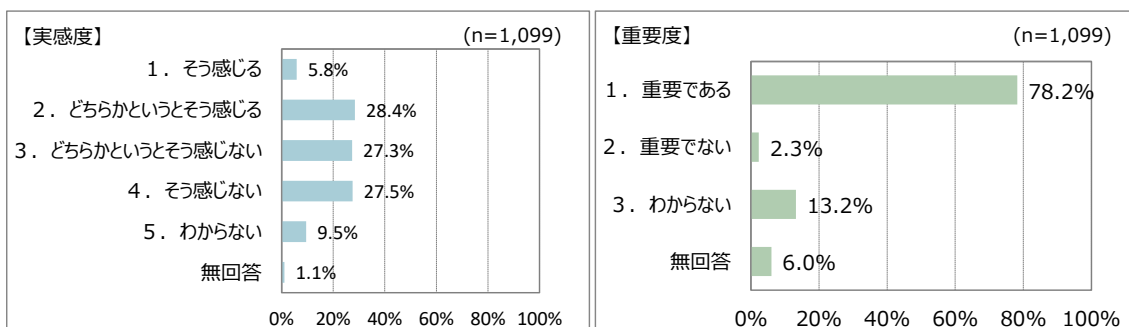
「重要である」は56.3%、「重要でない」は6.8%でした。



質問11：「魅力ある住環境」が整っていますか。

「実感している」が34.2%、「実感していない」が54.8%でした。

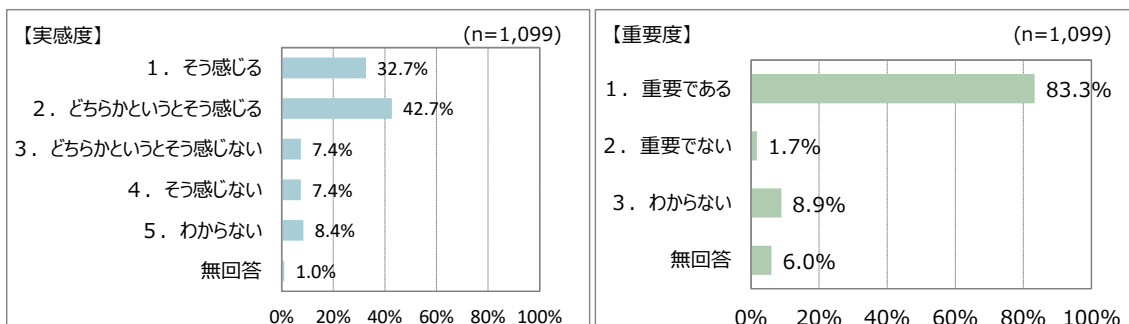
「重要である」は78.2%、「重要でない」は2.3%でした。



質問 12: 「水の安定した供給・循環」が図られていますか。

「実感している」が 75.4%、「実感していない」が 14.8%でした。

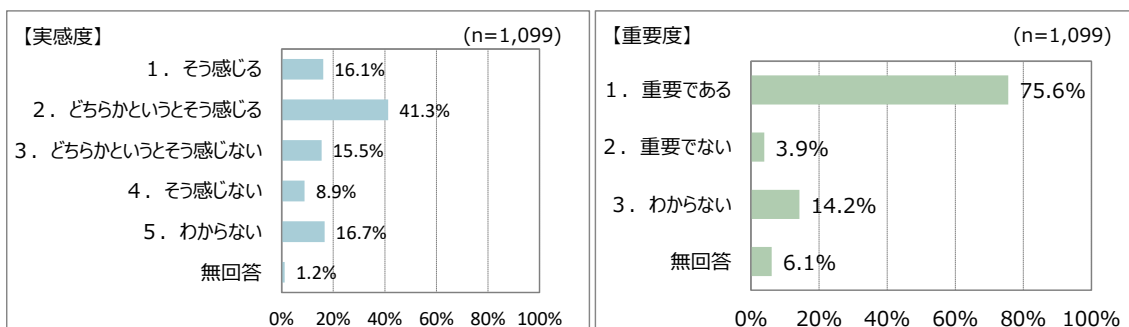
「重要である」は 83.3%、「重要でない」は 1.7%でした。



質問 13: 「環境に配慮したしくみ」が定着していますか。

「実感している」が 57.4%、「実感していない」が 24.4%でした。

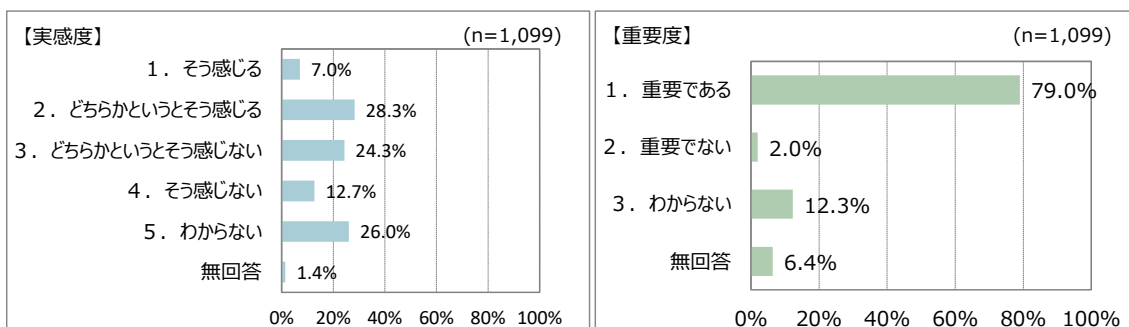
「重要である」は 75.6%、「重要でない」は 3.9%でした。



質問 14: 災害から「生命」を守るまちづくりが進んでいますか。

「実感している」が 35.3%、「実感していない」が 37.0%でした。

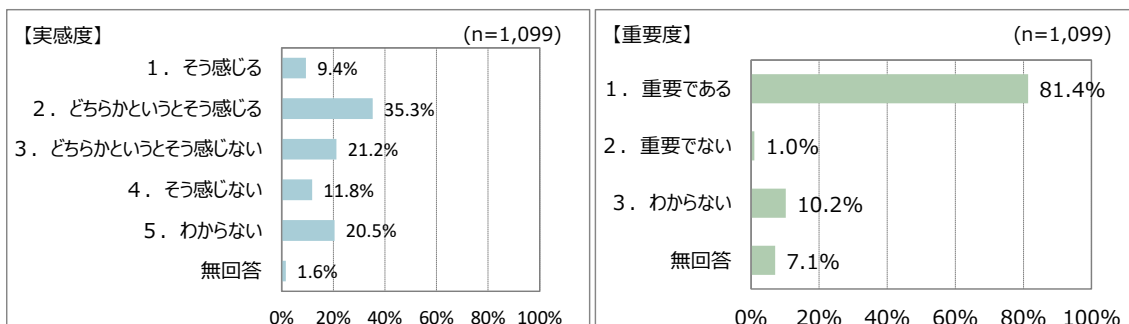
「重要である」は 79.0%、「重要でない」は 2.0%でした。



質問 15：「安全に暮らせるまち」ですか。

「実感している」が 44.7%、「実感していない」が 33.0%でした。

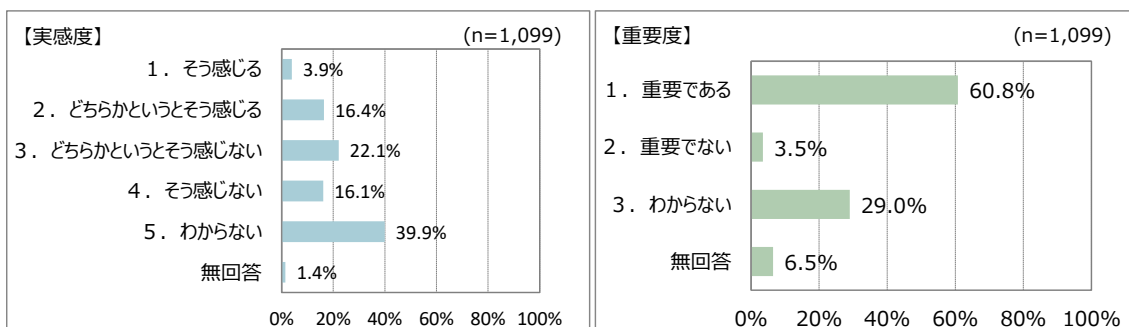
「重要である」は 81.4%、「重要でない」は 1.0%でした。



質問 16：「持続可能な行政経営」を実現できていますか。

「実感している」が 20.3%、「実感していない」が 38.2%でした。

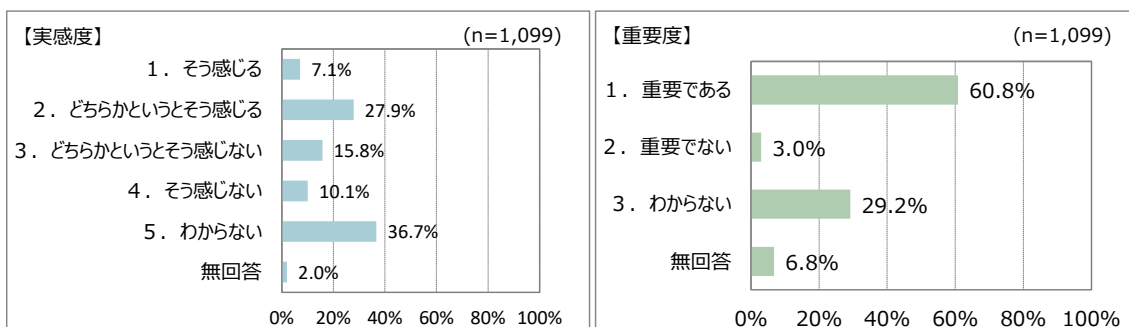
「重要である」は 60.8%、「重要でない」は 3.5%でした。



質問 17：「公共施設のマネジメント」が適正に行えていますか。

「実感している」が 35.0%、「実感していない」が 25.9%でした。

「重要である」は 60.8%、「重要でない」は 3.0%でした。



(2) 実感度が高い取組

「実感している」^{*7}とした取組は、「水の安定した供給・循環」が75.4%と最も高く、次いで「環境に配慮したしくみの定着」が57.4%でした。

※7 「実感している」＝「そう感じる」＋「どちらかというそう感じる」

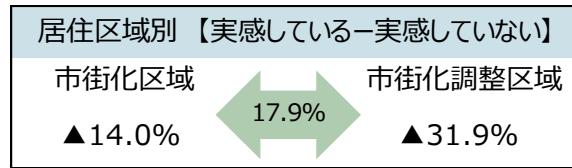
順位	取組内容	実感度
1	水の安定した供給・循環	75.4%
2	環境に配慮したしくみの定着	57.4%
3	安全に暮らせるまち	44.7%
4	健康寿命を延ばすまちづくり	40.4%
5	安心して産み、子育てができるまち	38.3%
6	災害から生命を守るまちづくり	35.3%
7	公共施設のマネジメントの適正化	35.0%
8	魅力ある住環境の整備	34.2%
9	高齢者がいきいきと暮らせる社会	33.8%
10	子育てに適した生活環境で、生涯にわたり住み続け・働けるまち	33.6%
11	生涯学習・文化・スポーツの振興	33.6%
12	魅力的なまち	28.4%
13	未来を創る子どもたちを育てる取り組み	28.2%
14	活力ある農業の振興	26.9%
15	自立と支えあいの共生社会	23.3%
16	持続可能な行政経営	20.3%
17	情報がつながる環境	20.1%

《参考》「実感している」から「実感していない」^{*8}を差し引いた実感度

※8 「実感していない」＝「そう感じない」＋「どちらかというそう感じない」

順位	取組内容	実感度
1	水の安定した供給・循環	60.6%
2	環境に配慮したしくみの定着	33.0%
3	安全に暮らせるまち	11.7%
4	健康寿命を延ばすまちづくり	11.2%
5	安心して産み、子育てができるまち	10.7%
6	公共施設のマネジメントの適正化	9.1%
7	災害から生命を守るまちづくり	▲1.7%
8	高齢者がいきいきと暮らせる社会	▲1.8%
9	活力ある農業の振興	▲2.5%
10	子育てに適した生活環境で、生涯にわたり住み続け・働けるまち	▲4.1%
11	生涯学習・文化・スポーツの振興	▲4.7%
12	未来を創る子どもたちを育てる取り組み	▲5.3%
13	自立と支えあいの共生社会	▲12.6%
14	持続可能な行政経営	▲17.9%
15	魅力的なまち	▲18.2%
16	魅力ある住環境の整備	▲20.6%
17	情報がつながる環境	▲32.3%

「魅力ある住環境」は、実感度ランキング8位ですが、「実感している」から「実感していない」を差し引いたランキングは15位でした。居住区域によって実感度に差があることが要因といえます。



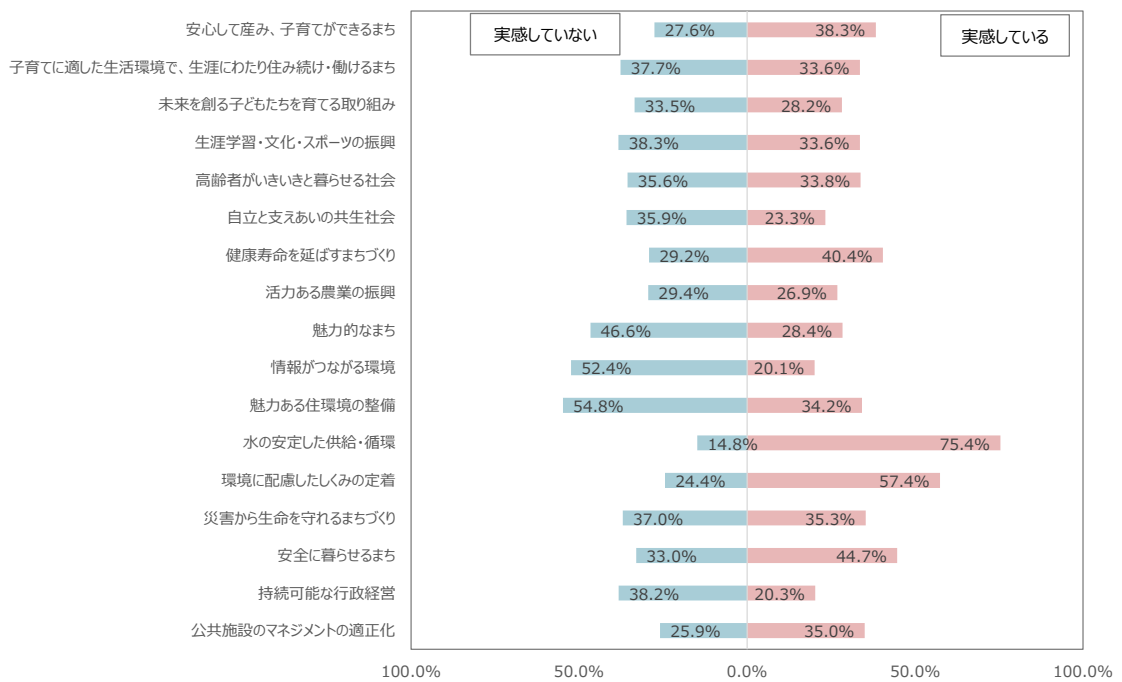
(3) 「実感している」・「実感していない」の割合

全17の取組に対する実感度について、「実感している^{※8}」と「実感していない^{※9}」を比較すると、11の取組で「実感していない」が「実感している」を上回りました。

「実感していない」が「実感している」を10ポイント以上上回る項目は、「情報がつながる環境」、「魅力ある住環境の整備」、「魅力的なまち」、「持続可能な行政経営」、「自立と支えあいの共生社会」の5項目でした。情報発信や町の魅力、町政運営に関する項目が該当しました。

※8 「実感している」 = 「そう感じる」 + 「どちらかというそう感じる」

※9 「実感していない」 = 「そう感じない」 + 「どちらかというそう感じない」



(4) 重要度が高い取組

「重要である」とした取組は、「水の安定した供給・循環」が83.3%と最も高く、次いで「安全に暮らせるまち」が81.4%、「災害から生命を守れるまちづくり」が79.0%でした。暮らしの安心・安全に関する取組の重要度が高いことが分かりました。

一方、下位の取組をみると「生涯学習・文化・スポーツの振興」(53.5%)、「情報がつながる環境」(56.3%)、「活力ある農業の振興」(57.8%)が挙げられるものの、半数以上が「重要である」としていることが分かりました。

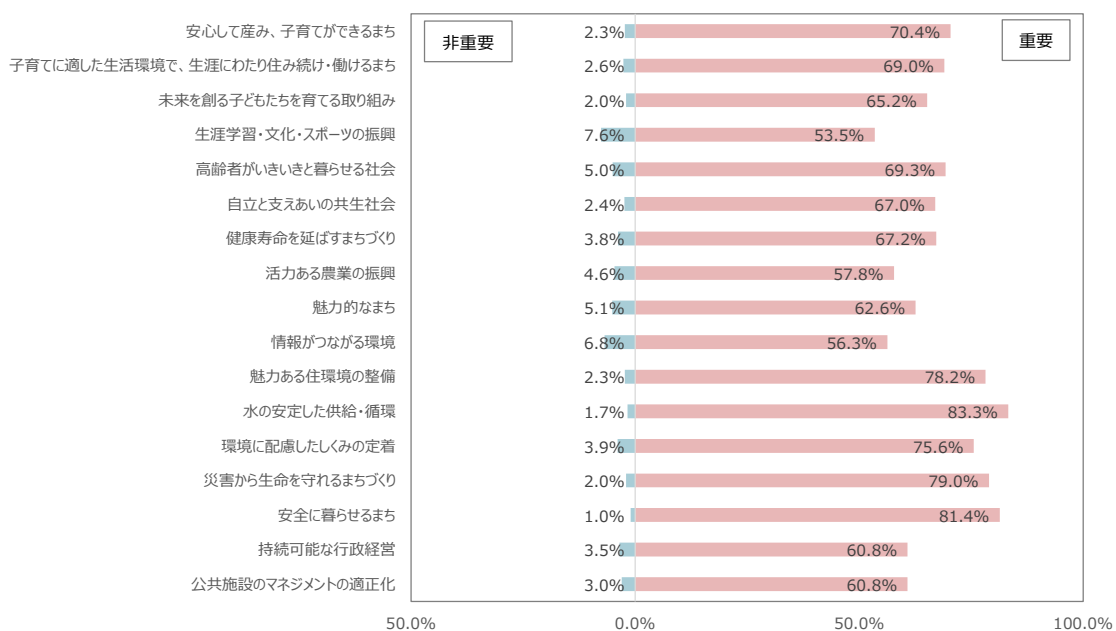
順位	取組内容	重要度
1	水の安定した供給・循環	83.3%
2	安全に暮らせるまち	81.4%
3	災害から生命を守れるまちづくり	79.0%
4	魅力ある住環境の整備	78.2%
5	環境に配慮したしくみの定着	75.6%
6	安心して産み、子育てができるまち	70.4%
7	高齢者がいきいきと暮らせる社会	69.3%
8	子育てに適した生活環境で、生涯にわたり住み続け・働けるまち	69.0%
9	健康寿命を延ばすまちづくり	67.2%
10	自立と支えあいの共生社会	67.0%
11	未来を創る子どもたちを育てる取り組み	65.2%
12	魅力的なまち	62.6%
13	持続可能な行政経営	60.8%
13	公共施設のマネジメントの適正化	60.8%
15	活力ある農業の振興	57.8%
16	情報がつながる環境	56.3%
17	生涯学習・文化・スポーツの振興	53.5%

(5) 「重要」・「非重要」の割合

全 17 の取組に対する重要度について、「重要^{※10}」と「非重要^{※11}」の割合をそれぞれ比較すると、全ての取組で「重要」が「非重要」を上回りました。

※10 「重要」 = 「重要である」

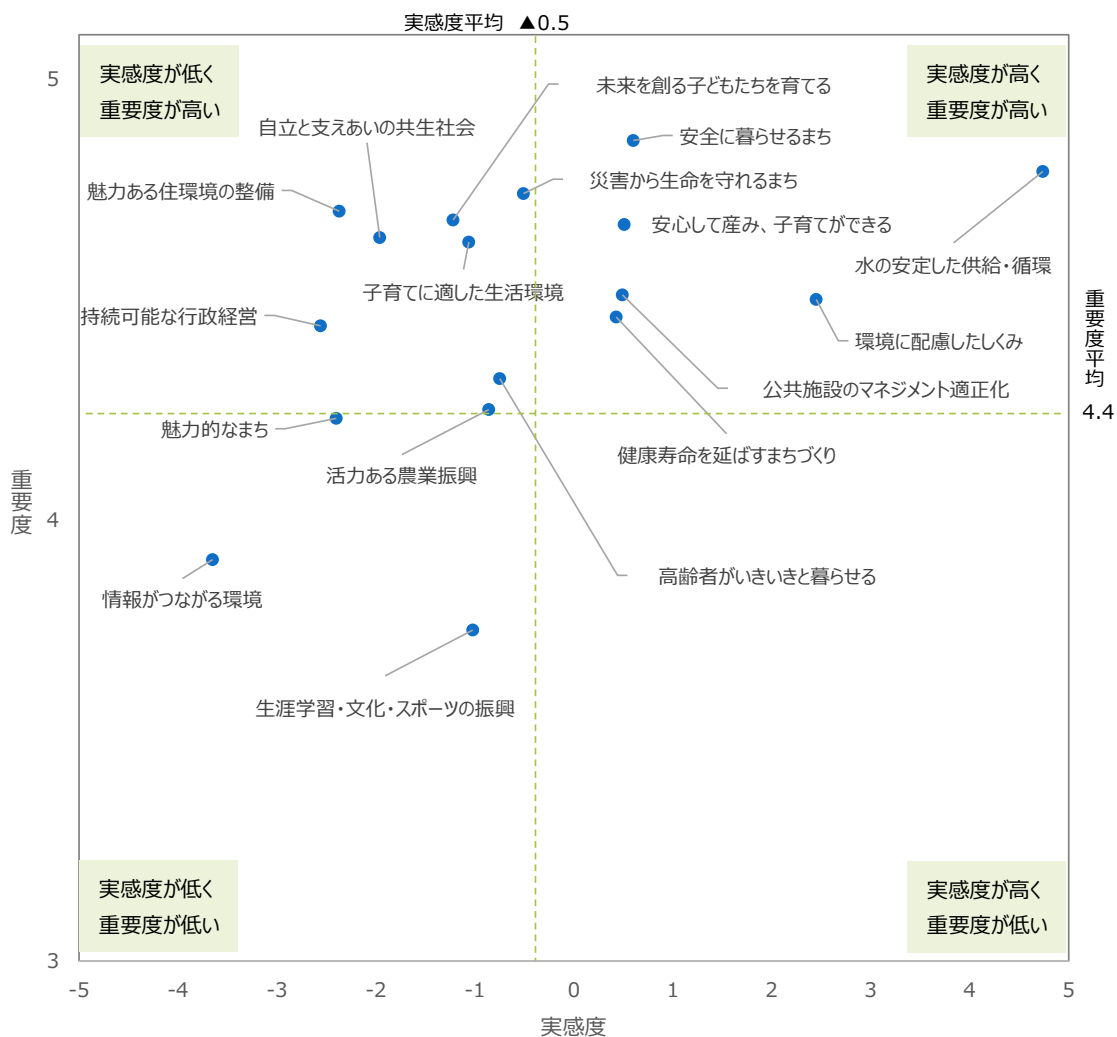
※11 「非重要」 = 「重要でない」



(6) 後期計画の取組に対する実感度・重要度のクロス分析

結果概要

- ・実感度の全体平均は「▲0.5」、重要度の全体平均が「4.4」でした。
- ・実感度が低く、重要度が高い「魅力ある住環境の整備」「自立と支えあいの共生社会」等の取組は、喫緊かつ重点的な対応が期待される取組といえます。
- ・実感度が高く、重要度も高い「水の安定した供給・循環」「環境に配慮したしくみ」等の取組については、継続的な対応が期待されているといえます。



※加重平均値の算出方法：実感度・重要度の評価にそれぞれ点数を与えて評価点を算出

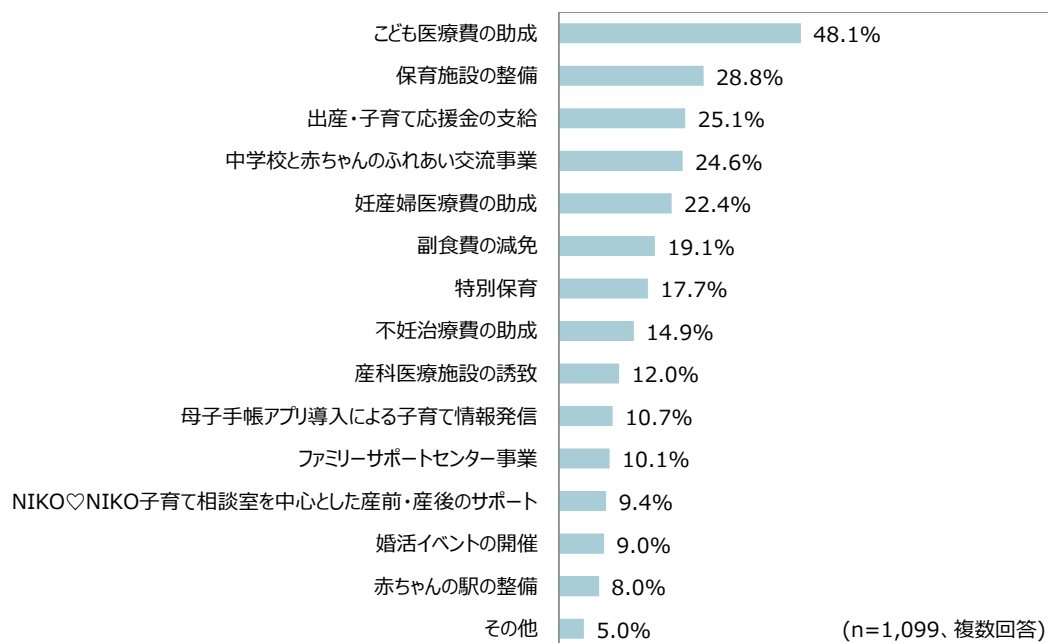
実感度の 評価点	「そう感じる」の回答者×10点	÷	「そう感じる」	} の各回答者数
	「どちらかというそう感じる」の回答者×5点		「どちらかというそう感じる」	
	「どちらかというそう感じない」の回答者×▲5点		「どちらかというそう感じない」	
	「そう感じない」の回答者×▲10点		「そう感じない」	
重要度の 評価点	「重要である」の回答者×5点	÷	「重要である」	} の各回答者数
	「重要でない」の回答者×▲5点		「重要でない」	

2. 後期計画の取組（分野別）に対する評価

(1) 子ども・教育・生涯学習分野に関する評価

① 出産・子育て

「こども医療費の助成」が 48.1%と最も多く、次いで「保育施設の整備」が 28.8%、「出産・子育て応援金の支給」が 25.1%となりました。

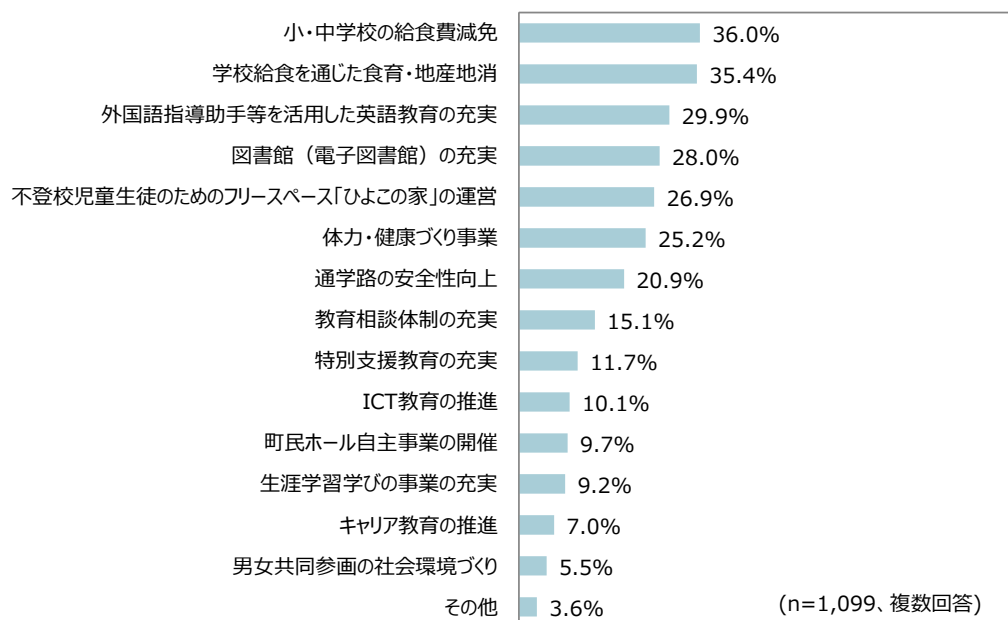


【その他意見】

項目	回答数
児童館の充実	1
エコ・ハウスたかねざわの活動	1
助成金を出すから良いとする考えはだめ	1
いろいろな事に取り組んでいることは知っている	1
特になし	10
分からない	28
記載なし	14

②教育・生涯学習

「小・中学校の給食費減免」が36.0%と最も多く、次いで「学校給食を通じた食育・地産地消」が35.4%、「外国語指導助手等を活用した英語教育の充実」が29.9%となりました。

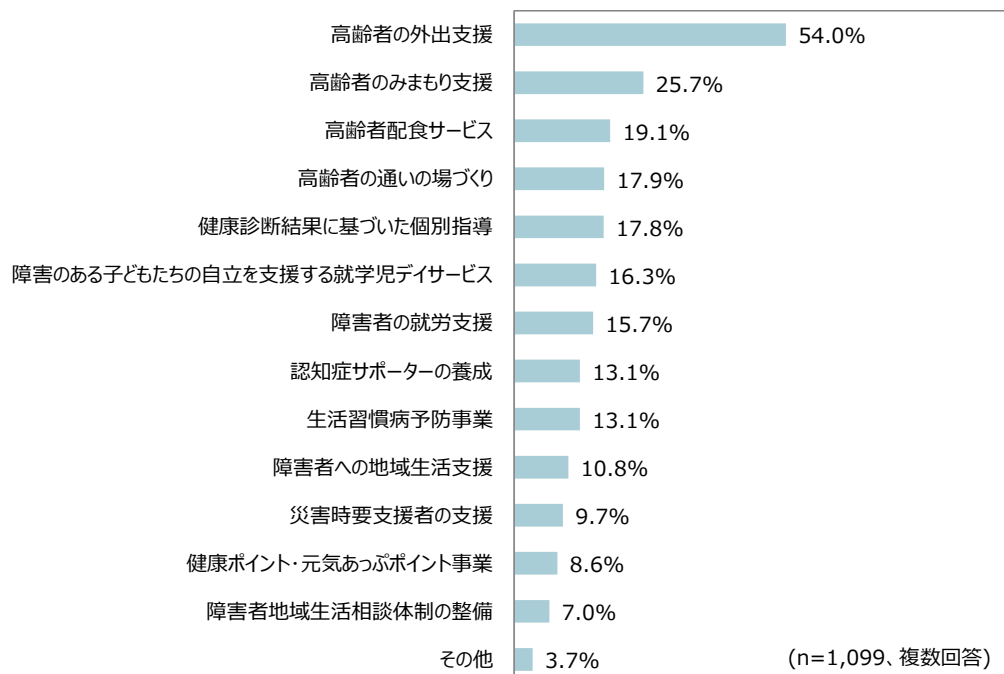


【その他意見】

項目	回答数
図書館の書籍の充実	1
治安が良い	1
学校における清掃教育や図書館教育等は削減・縮小の余地がある	1
子どもが学生の頃には感じられませんでした	1
特になし	6
分からない	19
記載なし	11

(2) 健康・サポート分野に関する評価

「高齢者の外出支援」が54.0%と最も多く、次いで「高齢者のみまもり支援」が25.7%、「高齢者配食サービス」が19.1%となりました。



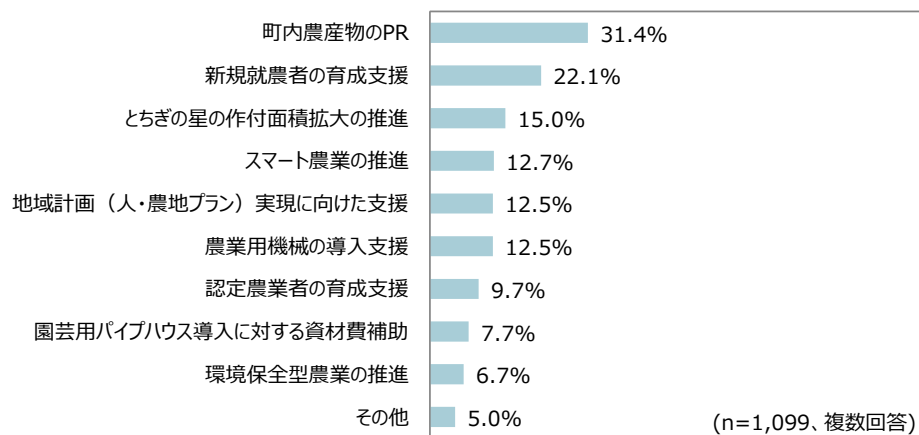
【その他意見】

項目	回答数
生活困窮の相談、専門相談	1
包括支援センター、一部医療機関	1
特になし	7
分からない	22
記載なし	10

(3) 魅力・活力分野に関する評価

①農業

「町内農産物のPR」が31.4%と最も多く、次いで「新規就農者の育成支援」が22.1%、「とちぎの星の作付面積拡大の推進」が15.0%となりました。

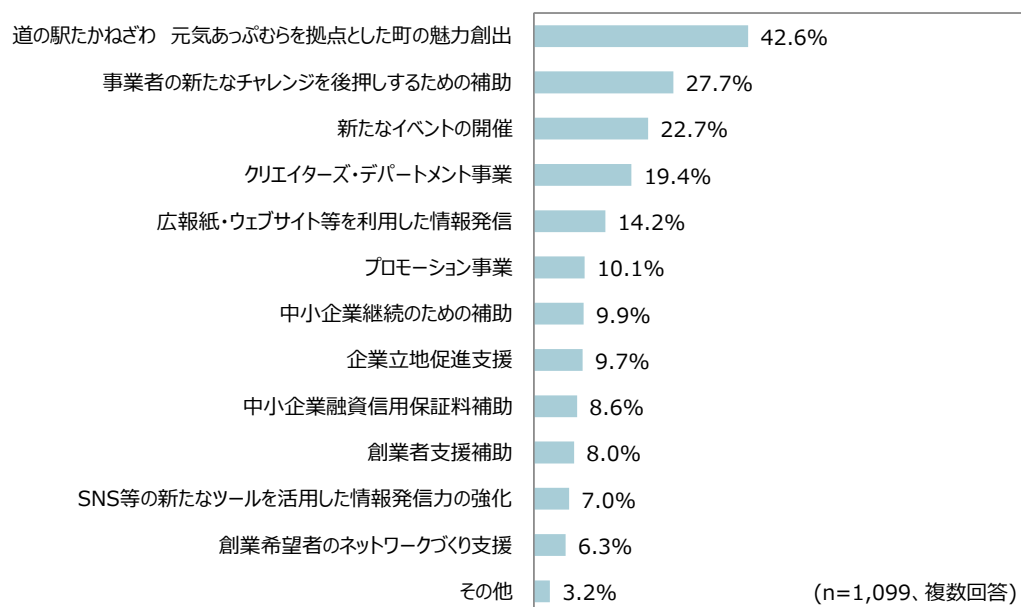


【その他意見】

項目	回答数
たんたんプラザ光陽台による農産物直売	1
道の駅たかねざわ 元気あっぷむら	1
一部の個人と機関の努力	1
農業に関する法律(農地法等)を改正し、会社等が経営できるようにしなければ農業の存続はないと思う	1
予算消化だけではだめ	1
たんたんプラザ光陽台等をはじめ、広報活動が足りない	1
ゆうだい21を広められるよう期待している	1
特になし	9
分からない	25
記載なし	14

②中小企業、創業者支援・町の賑わい創出

「道の駅たかねざわ 元気あっぶむらを拠点とした町の魅力創出」が 42.6%と最も多く、次いで「事業者の新たなチャレンジを後押しするための補助」が 27.7%、「新たなイベントの開催」が 22.7%となりました。

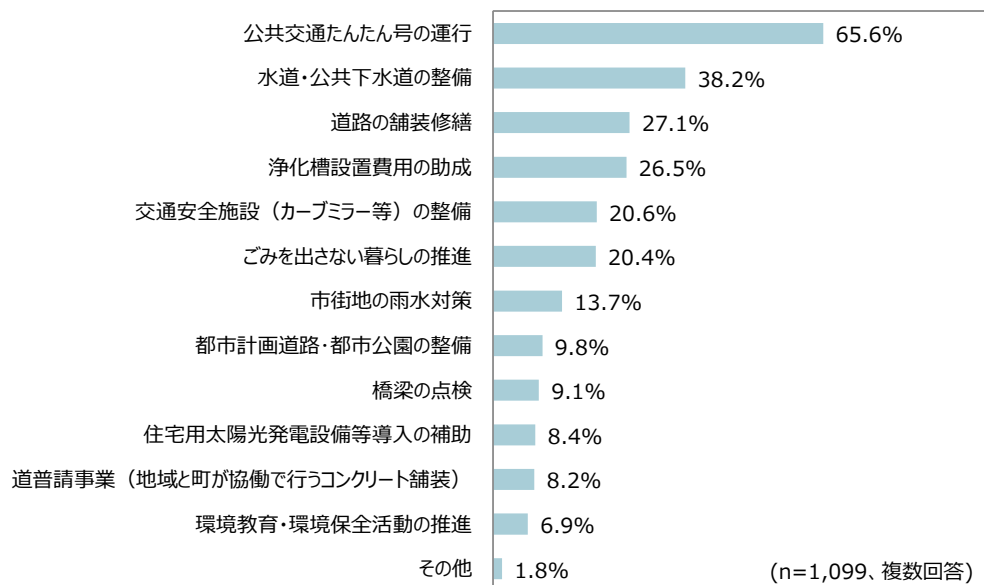


【その他意見】

項目	回答数
一部の個人と企業・機関の努力	1
道の駅たかねざわ 元気あっぶむらの商品価格が上がり、購入しづらい	1
単発的な花火等、開催が不定期で魅力がなく、費用がかさむだけである	1
特になし	11
分からない	12
記載なし	10

(4) 環境・社会基盤分野に関する評価

「公共交通たんたん号の運行」が 65.6%と最も多く、次いで「水道・公共下水道の整備」が 38.2%、「道路の舗装修繕」が 27.1%でした。

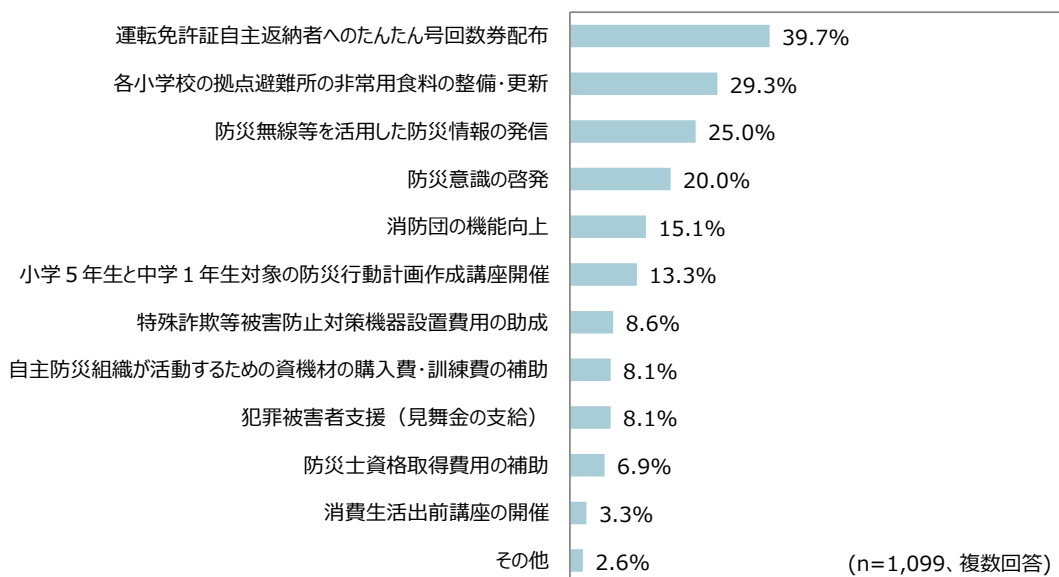


【その他意見】

項目	回答数
道路の舗装修繕は評価できない	3
周辺の雨水対策によって私有地（田）に被害が出ているが、何度依頼しても改善されない	1
他の市町村と比べ、家庭用生ごみ処理機器購入費の補助金が安い	1
太陽光発電等の導入補助があるが、廃棄のことは考えているのか	1
現在も浄化槽の補助金はあるのか	1
自宅建築当時、住宅用太陽光発電設備等導入の補助はなかった	1
紙くず等の家庭ごみは自宅で燃やしても良いのではないかと	1
特になし	4
分からない	3
記載なし	5

(5) 安全・安心分野に関する評価

「運転免許証自主返納者への「たんたん号」回数券配布」が 39.7%と最も多く、次いで「各小学校の拠点避難所の非常用食料の整備・更新」が 29.3%、「防災無線等を活用した防災情報の発信」が 25.0%でした。

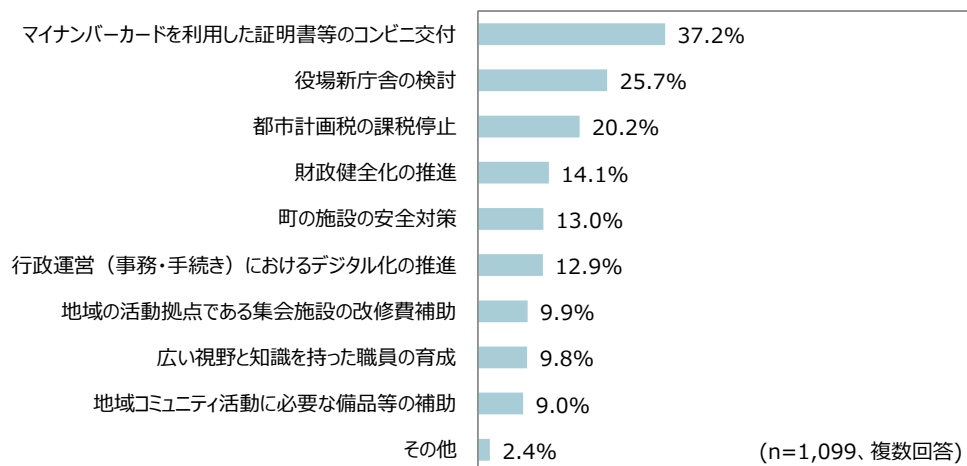


【その他意見】

項目	回答数
65歳以上の運転免許証自主返納者対象のたんたん号回数券配布の申請場所が分からない	1
非常用食料を更新する際、賞味期限前に子どもや高齢者に食べてもらってはどうか	1
空き巣が多発しているため、防犯強化をお願いしたい	1
通学時に誘導員を配置して欲しい	1
防災メールをもっと活用して欲しい	1
特になし	7
分からない	7
記載なし	10

(6) マネジメント分野に関する評価

「マイナンバーカードを利用した証明書等のコンビニ交付」が 37.2%と最も多く、次いで「役場新庁舎の検討」が 25.7%、「都市計画税の課税停止」が 20.2%となりました。



【その他意見】

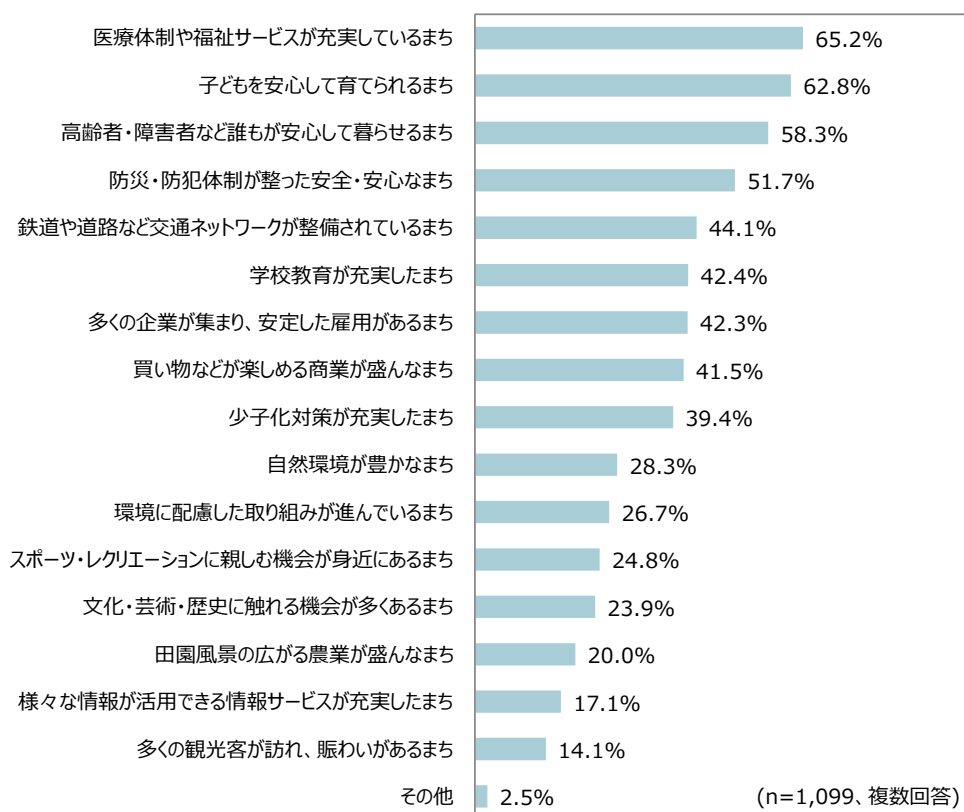
項目	回答数
高根沢町社会福祉協議会 地域支えあいセンターまるっとの活用や発信は評価できる	1
マニー株式会社の誘致	1
小学校体育館が避難所に指定されているが、老朽化が進んでいる	1
役場新庁舎について有名人の設計者に頼む必要はない	1
役場で交付できない証明書があるのが不便	1
マイナンバーカードを利用した証明書の交付に不安がある	1
マイナンバーカード等の事業は国に任せれば良い	1
特になし	10
分からない	4
記載なし	7

第5章 今後のまちづくりについて

1. 高根沢町に求めるまちの姿

(1) 全体傾向

「医療体制や福祉サービスが充実しているまち」が65.2%と最も多く、次いで「子どもを安心して育てられるまち」が62.8%、「高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち」が58.3%となりました。



【その他意見】

項目	回答数
ファミリーレストラン・本屋等があるまち、町内で生活必需品が揃えられるまち	4
道路の凸凹がない通りやすいまち	3
必要な情報が必要な時に受け取れ、理解しやすいまち	1
聞き取りやすい防災無線	1
道路、線路沿いの除草がされているきれいなまち	1
幅員の広い道路で安全に通行できるまち	1
外灯を増やして明るく安全なまち	1
歩行者が安全に通行できるまち	1
歴史的な名所等の説明があるまち	1
市街化区域を増やして欲しい	1
体育館が整備（修繕）されているまち	1
高根沢町に住みたい（移住したい）と思える魅力的なまち	1
自然や子供を大切にするまち	1
若者や30-40代が困らないまち	1
静かに暮らせるまち	1
住みやすいまち	1
地域コミュニティ、社会共生のためのつながりづくりができるまち	1
創業するひとへの十分な金銭的支援があるまち（創業したいと思えるまち）	1
中小企業や個人事業主に優しいまち	1
町民の声を反映してくれるまち	1
行政の透明性	1
指定ごみ袋が薄く破れやすいため改良してほしい	1
JRを横断する通路がほしい	1
特になし	1
記載なし	5

(2) 属性別傾向

①年齢

年齢ごとに上位5位をみると、全ての年代で「子どもを安心して育てられるまち」が上位であることが分かりました。「医療体制や福祉サービスが充実しているまち」は、10代を除く年代で上位、「防災・防犯体制が整った安全・安心なまち」は、30代を除く年代で上位でした。

【10代】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	子どもを安心して育てられるまち	73.3%
2位	高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち	66.6%
2位	鉄道や道路など交通ネットワークが整備されているまち	66.6%
2位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	66.6%
5位	学校教育が充実したまち	60.0%

【20代】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	65.6%
2位	子どもを安心して育てられるまち	63.7%
3位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	51.9%
4位	鉄道や道路など交通ネットワークが整備されているまち	50.9%
5位	学校教育が充実したまち	48.0%

【30代】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	子どもを安心して育てられるまち	75.3%
2位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	59.0%
3位	学校教育が充実したまち	52.4%
4位	少子化対策が充実したまち	51.2%
5位	鉄道や道路など交通ネットワークが整備されているまち	51.2%

【40代】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	子どもを安心して育てられるまち	68.8%
2位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	67.2%
3位	学校教育が充実したまち	55.9%
4位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	53.7%
5位	高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち	53.2%

【50代】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	64.5%
2位	高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち	58.1%
3位	子どもを安心して育てられるまち	56.3%
4位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	51.1%
5位	鉄道や道路など交通ネットワークが整備されているまち	47.6%

【60代】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち	76.9%
2位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	74.0%
3位	子どもを安心して育てられるまち	58.8%
4位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	54.7%
5位	多くの企業が集まり、安定した雇用があるまち	48.1%

【70代以上】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち	65.8%
2位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	59.8%
3位	子どもを安心して育てられるまち	56.5%
4位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	50.4%
5位	多くの企業が集まり、安定した雇用があるまち	47.1%

②居住区域

居住区域ごとに上位5位をみると、1～4位は割合に大小はあるものの順位に違いは見られませんでした。

【市街化区域】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	63.8%
2位	子どもを安心して育てられるまち	61.6%
3位	高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち	55.9%
4位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	51.5%
5位	鉄道や道路など交通ネットワークが整備されているまち	46.0%

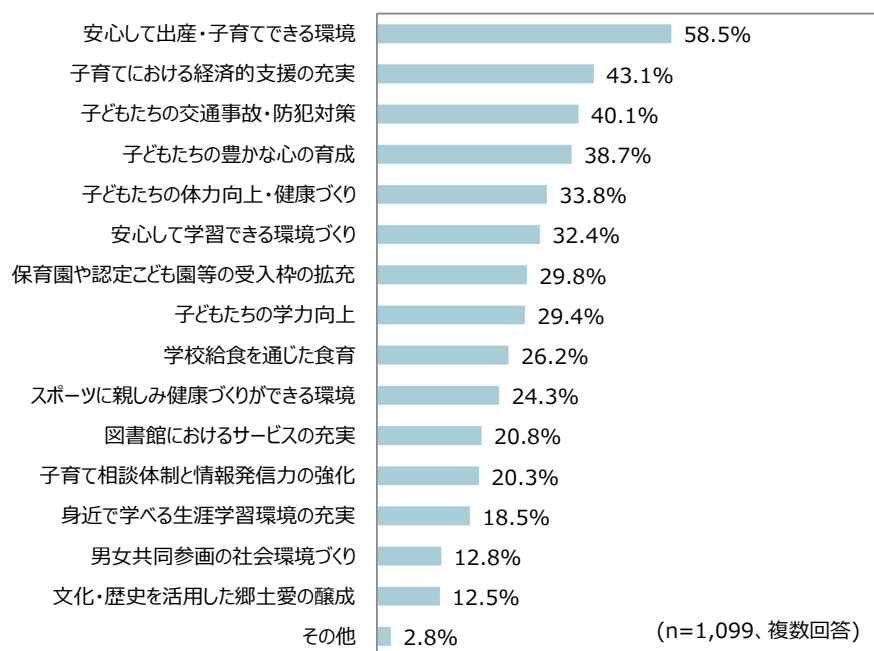
【市街化調整区域】

順位	求めるまちの姿	割合
1位	医療体制や福祉サービスが充実しているまち	69.0%
2位	子どもを安心して育てられるまち	64.9%
3位	高齢者・障害者など誰もが安心して暮らせるまち	62.0%
4位	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	52.4%
5位	多くの企業が集まり、安定した雇用があるまち	50.3%

2. 今後優先して取り組むべき項目

(1) 子ども・教育・生涯学習分野

「安心して出産・子育てできる環境」が 58.5%と最も多く、次いで「子育てにおける経済的支援の充実」が 43.1%、「子どもたちの交通事故・防犯対策」が 40.1%となりました。

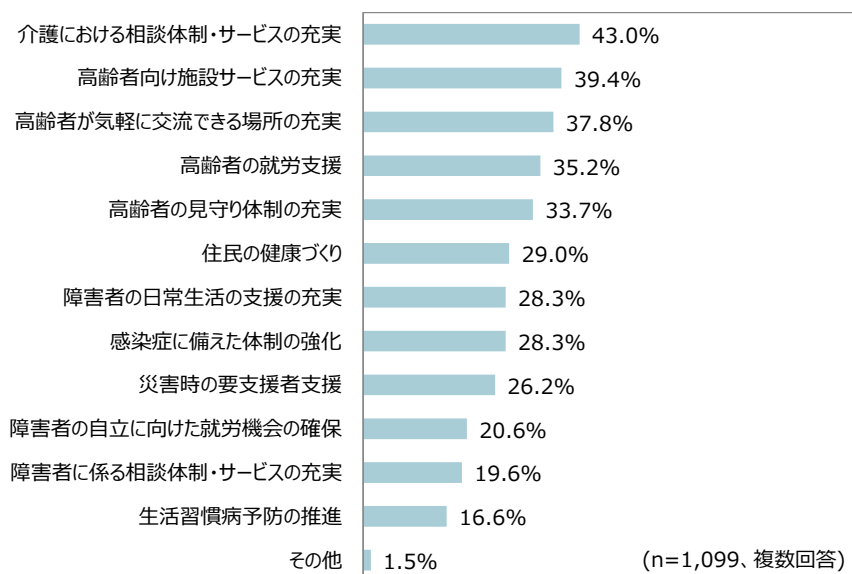


【その他意見】

項目	回答数
小学校の適正規模・適正配置等の検討	2
道路の拡幅	1
外灯の増設	1
道路沿いの防犯カメラ設置	1
小学生のバス通学の検討	1
交通安全について体験しながら学べる環境の充実	1
学校給食の充実（品数増）	1
問題のある子が高校、社会人に成長した時も支援が継続できる体制づくり	1
安全に通学できる道路の整備（歩道、ガードレール、信号等の設置）	1
各学生に合った指導ができる指導者の育成	1
ものづくりや感動を与える教育環境の新設	1
療育施設の充実	1
放課後の校庭の活用	1
子どもが安心して遊べる場所づくり	1
遊戯施設（カラオケ、ゲームセンター等）誘致	1
農家の世代交代の支援	1
減農薬・有機栽培への支援	1
特になし	5
分からない	3
記載なし	9

(2) 健康・サポート分野

「介護における相談体制・サービスの充実」が43.0%と最も多く、次いで「高齢者向け施設サービスの充実」が39.4%、「高齢者が気軽に交流できる場所の充実」が37.8%となりました。

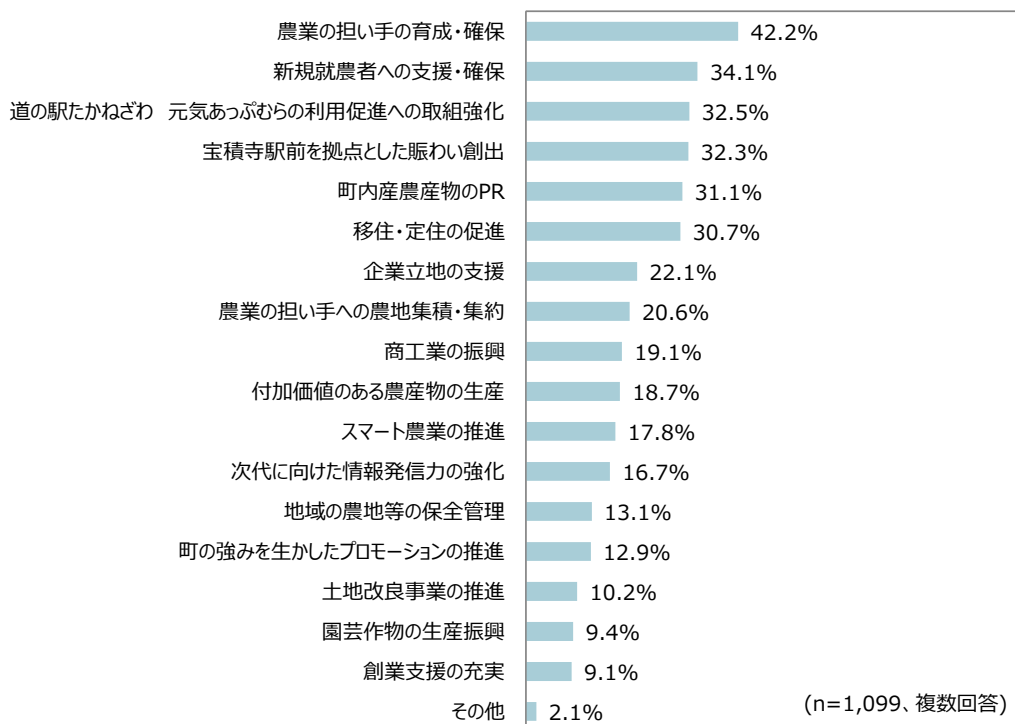


【その他意見】

項目	回答数
健康寿命を延ばすための取り組み（トレーニング機器設置等）	3
運転免許証を返納した高齢者等が不便なく過ごせる交通手段の整備	2
心と体の健康づくり	2
道の駅たかねざわ 元気あっぷむら天然温泉の利用料高齢者無料	1
言葉の暴力について考える場の設置	1
特になし	3
分からない	1
記載なし	4

(3) 魅力・活力分野

「農業の担い手の育成・確保」が42.2%と最も多く、次いで「新規就農者への支援・確保」が34.1%、「道の駅たかねざわ 元気あっぷむらの利用促進への取組強化」が32.5%となりました。

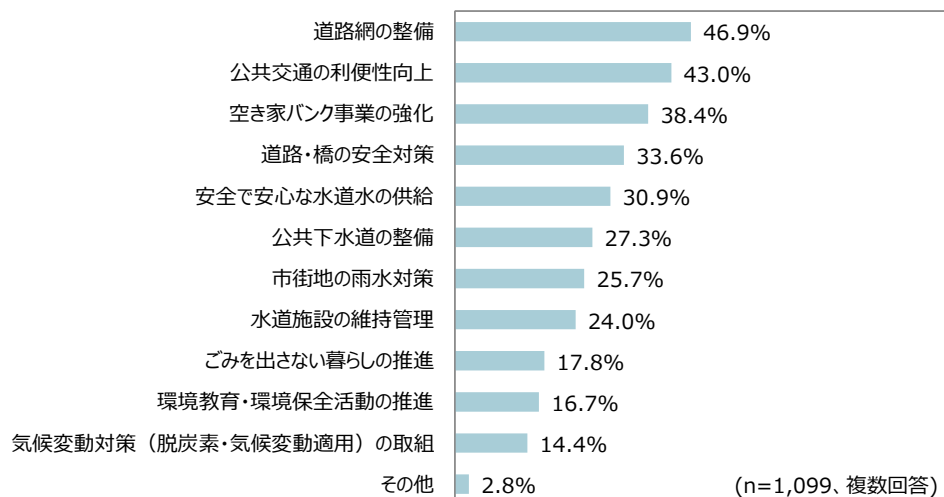


【その他意見】

項目	回答数
国道4号と408号が合流する地域への道の駅の設置	2
商店街の活性化	2
市街化調整区域の撤廃、住宅建築可能地域の増加	2
町民が行ってみたい、農産物を出したいと思える道の駅にしてほしい	1
下野花岡駅前の住宅の促進	1
道路の拡張	1
工場誘致のための農業振興地域の見直し	1
商業施設の誘致	1
公園等、子供が遊べる場所の設置	1
子育て世代が生活しやすい支援や仕組みづくり	1
移住者が増えるような高根沢町のPR	1
花火大会の実施	1
宝積寺駅前のコンビニ誘致	1
全てにおいて平等に取り組んでほしい	1
特になし	3
分からない	2
記載なし	3

(4) 環境・社会基盤分野

「道路網の整備」が46.9%と最も多く、次いで「公共交通の利便性向上」が43.0%、「空き家バンク事業の強化」が38.4%となりました。

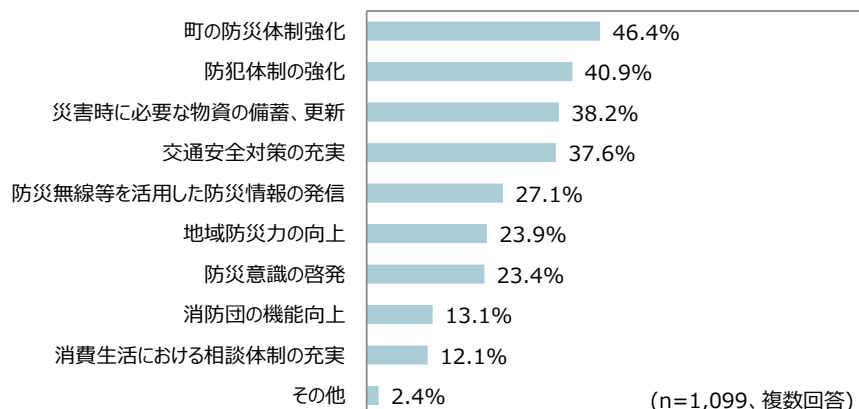


【その他意見】

項目	回答数
道路の拡幅	3
道路の修繕（凸凹箇所の改善）	3
外灯の増設	2
空き家対策	2
JRのダイヤ改正による利便性向上	2
踏切での混雑解消、線路を通らずに行き来できる道路の新設	2
水道料金の減額	2
たんたん号の利便性向上	1
河川の浚渫	1
農道の雨水対策、排水堀の整備	1
家庭内インターネット環境整備費補助	1
空き地の雑草除去	1
遊休農地対策	1
廃墟の撤廃	1
ごみ屋敷の撤廃	1
町営住宅の増加	1
外国人の居住マナー改善	1
EV・PHV用充電設備の設置	1
冠水場所の調査と対策	1
安全に通学できる道路の整備	1
SNS等を活用した情報発信	1
特になし	1
分からない	1
記載なし	5

(5) 安全・安心分野

「町の防災体制強化」が46.4%と最も多く、次いで「防犯体制の強化」が40.9%、「災害時に必要な物資の備蓄、更新」が38.2%となりました。

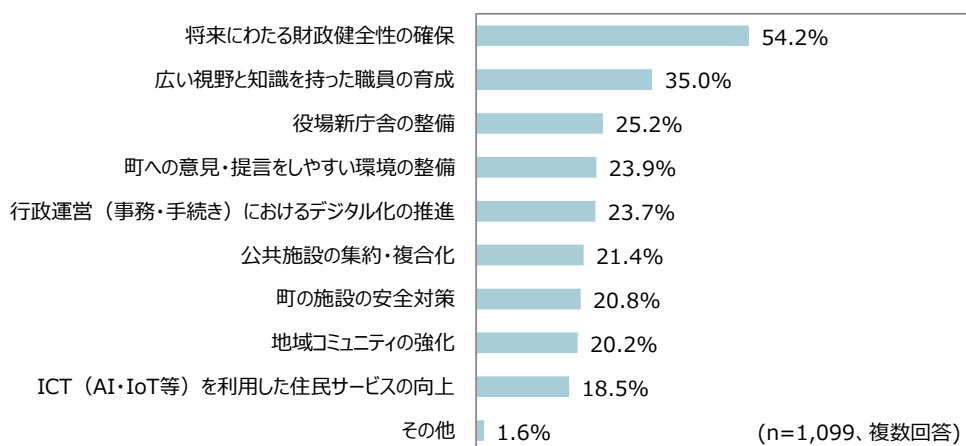


【その他意見】

項目	回答数
SNS等を活用した情報発信	3
道路の修繕（凸凹箇所や路肩の修繕）	3
防災無線の改善（聞き取りやすさ改善）	2
犯罪が起きにくいまちづくり	2
外灯の増設	2
道路沿いの防犯カメラ設置	1
生活全般について相談できる専門職員の増加	1
カーブミラーの修繕	1
安全に通行できる道路の整備（道路の拡幅、歩道の整備等）	1
水路等の維持管理	1
災害発生時等における町民の正確な状況を把握するための体制構築	1
弁護士による相談枠の増加	1
食料自給率の向上	1
地産地消の向上	1
特になし	3
記載なし	5

(6) マネジメント分野

「将来にわたる財政健全性の確保」が 54.2%と最も多く、次いで「広い視野と知識を持った職員の育成」が 35.0%、「役場新庁舎の整備」が 25.2%となりました。



【その他意見】

項目	回答数
道路の拡幅、区画整理	1
用地を拡充し余裕を持った新庁舎の建設	1
国や県の施設の優先的受け入れ	1
必要なこと・モノにお金を投じること	1
議会の健全性確保	1
市町合併	1
ラジコンやドローン等を楽しむ場所の確保	1
特になし	4
分からない	1
記載なし	6

3. これからのまちづくりに関する提案について

296人から494件の提案、意見等をいただきました。分野ごとにみると、「環境・社会基盤分野」が157件と最も多く、次いで「魅力・活力分野」が119件、「マネジメント分野」が91件、でした。分野ごとの提案・意見等は以下の通りです。

分野	回答数
①子ども・教育・生涯学習分野	70
②健康・サポート分野	28
③魅力・活力分野	119
④環境・社会基盤分野	157
⑤安全・安心分野	29
⑥マネジメント分野	91
合計	494

【子ども・教育・生涯学習分野】

項目	回答数
子育てに関する助成金や産婦人科・小児科の誘致等、子育てしやすい環境の整備をお願いしたい	13
公園に大型遊具を設置してほしい	4
子どもが安心・安全に遊べる公園や施設を設置してほしい	4
小・中学生のバス通学の検討をしてほしい。各家庭まで送迎する等、安全・安心な施策を求める	3
高校生や大学生への助成金を検討してほしい	2
子どもたちが様々なスポーツに接することができるようスポーツ施設の充実をお願いしたい	2
小学校の生徒数に偏り等があるため、適正規模・適正配置等の検討をお願いしたい	2
年度途中も含めて通年で待機児童ゼロを求める。入園・転園できるか不安があった	2
教育施設の修繕・整備をしてほしい	2
小・中学校の教員が子どものトラブルを客観的にみてほしい、教職員のレベル向上をお願いしたい	2
若者の結婚支援等、若い世代に対する対策が少ないと感じる。検討してほしい	2
NIKO♡NIKO子育て相談室や子育て支援センターの利便性向上、職員のホスピタリティ向上を求める	1
NIKO♡NIKO子育て相談室や子育て支援センターの利用者にアンケートを行うなど、利用者の意見を把握してもらいたい	1
ICT教育のひとつとしてプログラミング授業を行ってもらいたい	1
ICT教育について端末1人1台配置ただけで活用されていない。有効に活用できるようにお願いしたい	1
上高根沢小学校で少人数教育を受けられるのは良い	1
赤ちゃんの駅が少ない。利用したい時に使えずに困っている	1
公共施設内のトイレにオムツやおしりふきを置く等、子育てしやすい環境の整備をお願いしたい	1
高齢者と子育て世帯が交流できる機会を増やしてほしい	1
子育て支援センター等の未就学児を対象とする支援は評価できる	1
子どもが3人以上いる多子世帯には優先的に学童に入れるような仕組みがあると良い	1

項目	回答数
産後サポート事業は助かった	1
出産後の「子育て応援ギフト」があると良い。子育て世代に対する魅力的な取り組みのひとつになる	1
小学校の統廃合は行わないでほしい。人口減少要因になる可能性がある	1
小・中学校学の給食費の値引き率が異なり、不平等であると思う。検討していただきたい	1
中学生に自転車通学指導をお願いしたい	1
副食費の減免はありがたい取り組みである	1
母子家庭への支援に取り組んでほしい	1
町内に住む子どもは文化施設やスポーツ施設等が無料で利用できると良い	1
ユニバーサルデザイン化された環境で学習できると良い	1
給食の質及び量の見直しをお願いしたい	1
若い世代にとって育児・家事・仕事がしやすいまちにしてほしい	1
子どもたちが平等に学習できる施策をお願いしたい。子育て世代にとって「あの町に住むと学力が上がる」というのは魅力的である	1
子どもたちが安心して自分の「好き」を学べる場所であると良い	1
小学校の図書室の図書充実をお願いしたい	1
中学校の統廃合を検討してほしい。中学校によって部活動の数に差があることが課題である	1
中学校の統廃合はしないでほしい。長距離の自転車通学が課題である	1
未来を創る子どもたちのために財政を使ってほしい	1
TOKO-TOKOおおたわらのような施設があると良い	1
図書館の図書貸出期間が2週間であるが、もっと長くしてほしい	1
子供服の無料回収BOXを設置、必要な方に無償提供や格安販売できるシステムを作してほしい	1
若い世代の人口流出抑制のため男女共同参画が必要	1
指定管理者制度が導入されて以降、図書館の職員の対応が悪くなったと感じる。親切な対応をお願いしたい	1

【健康・サポート分野】

項目	回答数
医療機関、介護施設を充実させてほしい	5
高齢者に優しいまちづくりをお願いしたい	3
健康増進のため屋内スポーツ施設（トレーニング機器、ジョギング等）の設置を検討してほしい	2
高齢者が通いやすく、気軽に集まれる場所があると良い	2
町民プールを検討してほしい	2
乳がん検診等の無料クーポン券があると良い。がん検診を充実化してほしい。健診を促す案内等の情報発信も必要	2
带状疱疹予防をはじめワクチン費用の助成金が少ない、他自治体より対応が遅い	2
高齢者や障害者への支援に取り組んでほしい	1
さくら市のように温泉入浴利用証を発行してほしい	1
若年層への病気や障害に関する支援が他の自治体より対応が遅く利用しづらい	1
ロングステイが可能な介護老人ホームの空きがなく、入居できない。介護福祉に力を入れて取り組んでほしい	1

項目	回答数
自立を目指す障害者の送迎等を含む就労支援をお願いしたい	1
真に困っている人に手を差し伸べることができる行政であってほしい	1
介護保険料を安くしてほしい	1
公共交通たんたん号の80歳以上の方の利用料無償化は反対。少しでも利用料を徴収した方がよい	1
生活保護の要否判定の条件を厳格にしてほしい	1
心身共に元気で明るい健康的なまちづくりを期待している	1

【魅力・活力分野】

項目	回答数
商業施設等を充実させてほしい	19
企業を誘致し、雇用創出の取り組みを推進してほしい。税込増、人口増が期待できる	11
道の駅たかねざわ 元気あつむらの知名度向上、魅力度向上が必要と感じる	7
持続性のあるお祭りやイベントを行ってほしい	5
町の魅力について積極的に情報発信を行ってほしい。	5
町の魅力、町の賑わいの創出を期待している	5
誰もが楽しめる観光スポットや体験ができる施設、公園等を造ってほしい	5
人口減少への対策をお願いしたい	4
若い世代をはじめ誰でも町の取り組みが分かるようSNS等を活用した情報発信をお願いしたい。災害時にも役に立つと思う	4
高根沢町に生まれて良かった、住んで良かった、住み続けたいと感じられるまちを期待している	3
移住者が増え、子どもも増えると良い	3
農業振興に関する取り組み強化をお願いしたい	3
商業施設が市街地に立地が偏っている。利便性向上をお願いしたい	2
高根沢産「とちぎの星」をはじめお米等の特産品のPRをした方が良い	2
楽しくてワクワクするようなまちになることを期待している	2
利便性の高い場所でお祭りやイベント等の開催を増やしてほしい	2
人口が流出しない（定住）まちづくりをお願いしたい	2
道の駅たかねざわ 元気あつむらについて民間企業に運営を行う等の経営改善を求める	2
役場や道の駅たかねざわ 元気あつむら等の施設について営業時間を延長する等、利便性向上を図ってほしい	2
若い世代が充実した生活を送れたり、夢を叶えられるまちづくりを期待している	2
安住神社で開催されている太々神楽を存続させてほしい	1
個人事業主や中小零細企業に優しいまちになってほしい。支援が少ない	1
駅前広場でイベント等の開催がある場合、駅利用者の駐車場が不足するので対策をお願いしたい	1
会社員に対する支援、助成等を検討してほしい	1
家庭内インターネット環境整備費補助や利用料金の軽減等、インターネットを利用しやすい施策をお願いしたい	1
希望が持てるまちになってほしい	1
子どもたちのあいさつや近所の方の声かけは温かな気持ちになる	1
市街地と農村地域が交流できる機会をつくってほしい	1

項目	回答数
新規就農者の育成に取り組んでほしい	1
高根沢町産の農産物をもっと手軽に楽しめると良い	1
地域振興券「たんたんプレミアム商品券」等の補助が少ない	1
小さい子どもがいても働きやすい企業の誘致をお願いしたい	1
独身者に対する支援、助成等を検討してほしい	1
町全体に活気が感じられない。小さな事からでも良いので、やる気を育ててほしい	1
道の駅たかねざわ 元気あつむらで具材にこだわったおにぎり・野菜・果物のフレッシュジュース等があると良い。農業の活性化につながる	1
遊休農地や農機具等の貸し出しサービスがあると良い	1
駅や道の駅たかねざわ 元気あつむらで行われているイベントは素晴らしい。今後も文化的な企画（イベント）が行われると良い	1
駅前等の広場にバスケットゴールを置いてほしい。大会やイベントの開催、世代間交流もできて良い	1
外国人観光客を増やす施策をお願いしたい	1
若い世代が移住・定住しやすい住宅支援等を行ってほしい	1
遊休農地や耕作放棄地への対策を検討してほしい	1
遊休農地となっている石神台開田地区について工業用地や商業用地とする計画を検討してほしい	1
県立宇都宮白楊高等学校の高根沢農場跡地を工業用地や商業用地とする計画を施策に盛り込んでほしい	1
保育園や小学校が近くにある産業団地には大型トラックの出入りがある企業等の誘致は控えてほしい	1
広報誌のデジタル化をお願いしたい	1
定住人口4万人構想はどうなっているのか	1
町がどのようなまちづくりや取り組みを行っているか積極的に情報発信を行ってほしい	1
町、JA、商工会等が一体となってまちづくりをしてほしい	1
高根沢町に生まれて良かった、住んで良かったと感じられるまちを期待している	1

【環境・社会基盤分野】

項目	回答数
誰もが安全に通行できる道路の整備（道路の拡幅・修繕、歩道の整備、外灯の増設、ミラーの設置等）をしてほしい	60
市街化調整区域が多く、住宅を建てるハードルが高い。市街化区域を増やす等の施策をお願いしたい	9
公共交通たんたん号の便数、ルート改定、正確な時間での運行等による利便性向上を図ってほしい	8
公共交通たんたん号は不便であるため、バスを検討してほしい。たんたん号だけで不安である。交通の便が良いまちづくりを期待している	7
道路、線路沿いの除草や枝の伐採・剪定を適宜行ってほしい	5
空き家が増加していけらう。空き家の活用に取り組んでほしい	4
渋滞がひどい箇所がある。曜日や時間帯で進入禁止となる交差点に矢印信号を設置したり、踏切の閉鎖時間の再検討等、対策を取ってほしい	4

項目	回答数
上下水道料金が高いと感じている	3
JRの本数や車両を増加し、利便性の向上を図れるよう働きかけをしてほしい	2
LRTが高根沢町まで延伸することを期待している	2
家庭ごみの野外焼却に注意を促してほしい	2
公園に駐車場を設置してほしい	2
公共交通たんたん号について安全運転をお願いしたい	2
町の中心部や駅と農地が多い地域とを結ぶ交通網や交通手段があると良い	2
宝積寺駅東口ロータリーの混雑緩和対策をお願いしたい	2
野良犬・野良猫対策をお願いしたい	2
ちよっ蔵情報発信館やちよっ蔵広場の利用促進、PRが必要	2
5Gの普及をお願いしたい	1
LRT「芳賀・高根沢工業団地駅」と道の駅たかねざわ 元気あつぷむらを結ぶ公共交通を検討してほしい	1
LRT「芳賀・高根沢工業団地駅」との交通結節の在り方等、交通弱者に優しいまちづくりを期待している	1
河川の草、ごみが気になる。対策をお願いしたい	1
環境教育や環境保全活動の推進はコスト高であるため不要である	1
車が通行できる陸橋を増やしてほしい	1
下水道の整備は力を入れて取り組んでほしい	1
ごみの分別が難しい。改善をお願いしたい	1
ごみを出さない暮らしの推進やごみ処理に関する情報発信に力を入れてほしい	1
市街化区域内にある農地を区画整理してほしい	1
市街化調整区域の道路網の整備をお願いしたい	1
指定ごみ袋制度の廃止を検討してほしい	1
指定ごみ袋が破れやすいので丈夫なものにしてほしい	1
住宅のある農道を舗装してもらいたい。砂利は敷いてくれるが、すぐに元の状態になるので舗装した方が費用面からも良いのではないかと	1
焼却炉の燃料として廃油を活用してほしい	1
プラスチック、不燃物、ペットボトルのごみの回収頻度が少なく感じる。生活に基づいた回収をお願いしたい	1
道路の凍結対策をお願いしたい	1
宝積寺駅とかしの森公園（芳賀町）を結ぶ公共交通を整備してほしい。宇都宮駅東口との回遊が可能となり、賑わい創出にもつながる	1
宝積寺駅に無料駐車場を設置してほしい	1
メガソーラーの建設は反対である	1
駅周辺の駐輪場や駐車場の整備をしてほしい	1
空地過疎化している地区があったり、同じ地区の中でも場所によって整備の違いがある	1
駅前通りがドブ臭い。対策をお願いしたい	1
公共工事を行う事業者の技術向上をお願いしたい	1
図書館や郵便局へのアクセス改善をお願いしたい	1
資源ごみの回収センターを増やしてほしい	1
役場や図書館等に可燃ごみの収集場があると良い	1
環境配慮に関する補助金支援を求む	1
一戸建て住宅の解体補助金を検討してほしい	1

項目	回答数
戸建て住宅に対する助成金（リフォームや緑化等）を検討してほしい	1
住宅建築に関する補助があると良い	1
排水設備の工事代金の補助金を検討してほしい	1
ペットに関する条例があると良い	1
水道工事の案内が案内とは異なる通行止めがあつて困った。親切で分かりやすい案内が必要である	1
ヤード業者による町の景観の悪化、大型車通行による振動・騒音問題について条例改正等の対策を講じてほしい	1
道路にごみが落ちていないきれいなまちにしたい。犯罪抑止等の副次的効果をもたらす可能性もある	1
住宅地・農地・産業用地等の区分を明確にし、まちづくりしてほしい	1
ペットと暮らしやすいまちづくりをお願いしたい	1
宝積寺駅東側の空き地の有効活用を求む	1

【安全・安心分野】

項目	回答数
聞き取りづらい防災無線の改善を求める。各家庭への防災行政無線の無料貸与等の検討もお願いしたい	11
外国人が増えてきているので不安がある。過度に増えて治安が悪化しないようにしてほしい	2
警察署や駐在所を置いてほしい	2
消防団への協力金について、持ち家の家庭からの徴収、自治会未加入者からの徴収等ができるとう良い	2
車の騒音や危険運転が気になる。静かに暮らせるまちを望む	1
災害発生時、川の水を電気を使わずに飲料水にできる設備があると良い	1
水害がなく住みやすく、感謝している	1
地域のコミュニティが衰退していると感じている。災害発生時における安全・安心の確保が危ぶまれる	1
地域で防災訓練を行ってほしい	1
広報等、町の情報を取得する機会がなく、災害発生の際の不安がある	1
防犯対策としてパトロールを増やしてほしい	1
安心して住み続けられるまちづくりを期待している	1
安全・安心なまちづくりに取り組んでほしい	1
大規模災害発生時、町や自治体がどのような対応してくれるのか知りたい。東日本大震災の際はどの支援もなかった	1
防災士資格取得補助金等、有効に使われていない補助金があるのではないか	1
消防の広域化について考えてほしい。人口減少が進む中、消防団の在り方について検討も必要である	1

【マネジメント分野】

項目	回答数
町長、議員、職員の質の向上を求める	7
税金が高いと感じている	7
町への要望・意見等を気軽に伝えられる、町からの回答も手軽に目にする事ができる仕組みがあると良い	6
アンケートに記載している取り組みの内容が分からず判断ができなかった	5
自治会加入率が低下している。今後の自治会の在り方について検討してもらいたい	4
役場の窓口の職員の温かく丁寧な対応が良い	4
役場は町民誰もが利用することや災害時の拠点となることから、新庁舎の建設地や機能については熟考してもらいたい	4
議員が多すぎるのではないか	3
若い世代にも町議会議員になってもらいたい	3
今後の行政の在り方（市町村合併の有無等）を検討した方が良い	2
新庁舎の整備は優先的に取り組んでほしい	2
町がお金をどこに使うのかよく考えてほしい	2
町がやるべきことは決まっているが、真剣に取り組んでいるか見えてこない。他自治体との競争に負ける	2
町の単独予算だけでなく、国や県からの補助金獲得を積極的に行ってほしい	2
新庁舎の移転時には業務集約についての検討をしてほしい	2
アンケート等の回答は郵送ではなく、最寄りの公共施設に投函できるようにしてほしい。郵便代削減につながる	1
SDG s なまちにしたいという町の想いを発信してほしい	1
以前行った住民意識調査の結果について住民に冊子として配布されたが、その必要はあるのか。HPへ掲載することで良い。経費削減になる	1
以前の住民意識調査の結果を冊子で見た後、意見を言う手段がなかった。意見や提案を反映したまちづくりを行ってほしい	1
議会の模様をインターネット配信してほしい	1
既存の公共施設は大規模修繕や長寿命化改修を行い、財政負担の軽減を図ってほしい	1
今後もアンケートの回答は郵送とW e b から選択できると良い	1
コンビニ交付で戸籍謄本等取得できない証明書があるので交付できるようにしてほしい	1
自分の町を誇れる町であると住民全員が思えるまちづくりを期待している	1
住民の声を取り入れたり、人に対する思いやりが伝わる行政であってほしい	1
新庁舎の合理的な整備を期待している	1
新庁舎は環境への配慮、ライフサイクルコスト等を考慮した建物にしてほしい	1
積極的な立案・計画・実行をお願いしたい	1
高根沢町の良さを活かした政策を続けてほしい	1
庁舎にマイナンバーカードで各種証明書が取得できる機器の導入をお願いしたい	1
町政アドバイザー制度を導入してほしい	1
都市計画税の課税停止を撤廃し、市街化区域の整備に取り組んでほしい	1
ふるさと納税による町税収入減少は残念	1
どのような助成金があるかが分かる一覧があると良い	1
ふるさと納税の返礼品に関するPRが足りない。インパクトのある高根沢産の返礼品を作ってほしい	1
町から市へ移行できないか検討してほしい	1

項目	回答数
町としてできる施策をコツコツやっていってほしい	1
町の予算は若い世代（特に子育て世代）に重点配分した方が良いと思う	1
町の取り組みについて関心がなかったが、今回のアンケートで様々な取り組みを知った	1
役場職員の異動について、都市計画・インフラ事業・子育て支援等に関する部門は定期的な異動ではなく、長期間携わっていくことが必要	1
もう少し温かく、優しさのある行政であってほしい	1
役場職員の初任給をアップすることで魅力的なまちづくりの一翼を担う優秀な人材の獲得につながるのではないかな	1
役場新庁舎の整備を控え、町民の負担が増える一方で税収が増える見込みはない。税収アップが見込める取り組みが必要である	1
役場の窓口での手続きについて、高齢者・障害者・妊婦等、誰もが負担なく手続きができるような取り組みや臨機応変な対応をお願いしたい	1
他市町と連携や差別化を図って更に発展することを期待している	1
赤ちゃんから高齢者まで住民全員を見据えたまちづくりをしてほしい	1
公共事業等の工事費や建築費等が高騰している。町民への税負担や町の財政難を懸念する	1
今回の住民意識調査は子どもや子育てに関する質問が多かった。高齢者介護や福祉、就業等についての問いが少なく、片寄りがあると感じた	1
町民誰もが行政に積極的に参加する意識の醸成が必要	1
役場に行くと何でも揃う（購入できる）店があると良い	1
デジタル化を進める際にはデジタル・デバイド（情報格差）への対策も考えてほしい	1

卷末資料「住民意識調査 調査票」

『住民意識調査』へのご協力のお願い

～皆さんの声を聞かせてください～

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げますとともに、平素から町政にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

高根沢町ではこれまで、「高根沢町地域経営計画 2016」（※基本構想 [10 年] と基本計画 [前期概ね 5 年及び後期概ね 5 年]）に基づいて、町政運営を進めてまいりました。

今回、計画期間が令和 7 年度で終了しますので、**新たに策定する地域経営計画（※令和 8 年度からスタート）**の検討を開始します。

次期計画の検討に際し、皆様方のご意見を十分に反映した計画にすることが重要であるため、「高根沢町地域経営計画 2016 後期計画」に基づいて行ってきた、まちづくりに対する評価や、今後優先すべき施策等に関して、意識調査を実施することと致しました。

この意識調査は、高根沢町にお住まいの 18 歳以上の方々から無作為抽出しました 2,500 人を調査対象にさせていただきました。また、無記名方式であり、調査データは統計的な処理をしますので、いただいたデータを本調査目的以外に使用することはございません。

ご多忙のところ大変お手数をおかけしますが、本調査の目的をご理解いただき、高根沢町の将来のためにご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和 5 年 12 月

高根沢町長 加藤 公博

調査票ID^{*}（重複回答防止用）

※この ID は、紙とインターネットとの重複回答を防止するために記載しているものであり、個人を特定するものではありません。

裏面の留意事項をお読みいただき、回答をお願いします。

ご回答にあたってのお願い

1. 本調査は、高根沢町の委託により株式会社あしぎん総合研究所が実施しています。
2. 本調査は、必ず封筒あて名の方ご本人のお考えに基づき、ご回答をお願いいたします。
3. ご回答は、紙またはWebのどちらかでお願いいたします。
 - 紙でご回答いただく場合
同封しました調査票にご回答いただき、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて投函ください。
 - Webにてご回答いただく場合
下記の二次元バーコードからご回答をお願いいたします。



4. ご回答は、令和5年12月22日(金)までをお願いいたします。
5. ご回答のための所要時間は約20分です。
6. 調査票や封筒に氏名や住所を記入しないようお願いいたします。
7. 本調査の内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

お問合せ先
高根沢町 企画課 企画調整係
TEL：028-675-8102
FAX：028-675-2409
E-mail：keiei@town.takanezawa.tochigi.jp

住民意識調査

調査票

調査票ID* (重複回答防止用)

令和 5 年 12 月

高根沢町

1. あなたご自身について

問1 あなたの性別についてお伺いします。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|-------|-------|--------|----------|

問2 あなたの年齢についてお伺いします。(○は1つ)

- | |
|----------|
| 1. 10代 |
| 2. 20代 |
| 3. 30代 |
| 4. 40代 |
| 5. 50代 |
| 6. 60代 |
| 7. 70代以上 |

問3 あなたの世帯構成についてお伺いします。(○は1つ)

(2. 3. の両方に該当する場合は、それぞれに○をお付けください)

- | |
|----------------------|
| 1. 単身(ひとりぐらし)世帯 |
| 2. 家族に中学生以下の子どもがいる世帯 |
| 3. 家族に65歳以上の高齢者がいる世帯 |
| 4. その他の世帯 |

問4 あなたのお住まいの区域についてお伺いします。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 市街化区域
(※宝積寺・光陽台・宝石台・仁井田地区などで、計画的な市街化を図る区域) |
| 2. 市街化調整区域
(※上記以外の地区で、市街化を抑制している区域) |

問5 あなたのお住まいの学区についてお伺いします。(○は1つ)

- | |
|-------------|
| 1. 阿久津小学校区 |
| 2. 西小学校区 |
| 3. 中央小学校区 |
| 4. 北小学校区 |
| 5. 東小学校区 |
| 6. 上高根沢小学校区 |

問6 あなたは、高根沢町は住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらともいえない

問7 あなたは、これからも高根沢町に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらかといえば転出したい
4. 転出したい
5. どちらともいえない

問8 あなたは、高根沢町を「自分のまち」として愛着を感じていますか。(○は1つ)

1. 愛着を感じている
2. どちらかといえば愛着を感じている
3. どちらかといえば愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない
5. どちらともいえない

2. 高根沢町地域経営計画 2016 後期計画の取り組みについて

問9 「高根沢町地域経営計画 2016 後期計画の取り組み」であなたが感じている「実感度」及び「重要度」についてお伺いします。

各項目の該当する番号に○を付けてください。(○は実感度と重要度各1つ)

【実感度】

あなたが高根沢町で暮らす中で、生活者としてどの程度実感がありますか。

【重要度】

あなたが高根沢町で生活していく中で、どの程度重要なことですか。

※質問の内容があなたにとって実感やイメージがつかない場合は、「わからない」に○を付けてください。

(1) 子ども・教育・生涯学習分野

NO.	質問	実感度					重要度		
		そ う 感 じ る	そ う 感 じ る	ど ち か と い う と	ど ち か と い う と	そ う 感 じ な い	わ か ら な い	重 要 で あ る	重 要 で な い
1	<p>高根沢町は、「安心して産み、子育てができるまち」ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して妊娠・出産・子育てができる環境が整っている。 ・地域、家族、町が協力して楽しく子育てができる。 ・子育て家庭が必要なときに利用できる子育てサービスが充実している。 	1	2	3	4	5	1	2	3
2	<p>高根沢町は、「子育てに適した生活環境で、生涯にわたり住み続け・働けるまち」ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てがしやすい環境である。 ・働きやすいまちである。 ・20～40代の若者層、ファミリー層の交流人口が増えている。 	1	2	3	4	5	1	2	3
3	<p>高根沢町は、「未来を創る子どもたち」を育てる取り組みが進んでいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）が向上している。 ・全ての子どもたちにとって、最適な学びの機会がある。 	1	2	3	4	5	1	2	3
4	<p>高根沢町は、「生涯学習・文化・スポーツ」を振興できていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる「趣味」や「学び」を持つことで、心と体が豊かな暮らしが実現できている。 ・町の文化・芸術・歴史を身近に感じることができている。 ・「ふるさと高根沢」への愛着が育まれている。 	1	2	3	4	5	1	2	3

(2) 健康・サポート分野

NO.	質問	実感度					重要度		
		そ う 感 じ る	そ う ち 感 じ る	ど ち か と い う と	ど ち か と い う と	そ う 感 じ な い	わ か ら な い	重 要 で あ る	重 要 で な い
5	<p>高根沢町は「高齢者がいきいきと暮らせる社会」になっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自立した生活を送るための環境が整っている。 ・気軽に交流できる場所（通いの場）が充実している。 ・高齢者が安心して介護を受けられる基盤ができており、本人と家族の暮らしが安定している。 	1	2	3	4	5	1	2	3
6	<p>高根沢町は、「自立と支えあいの共生社会」となっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障害がある・ない」によって分け隔てられることなく、自らの意思による選択と決定のもとに自立し、社会参加ができるまちである。 ・障害のある方やその家族を地域で支援できる体制がある。 ・災害が起きたときに、誰もが安全に避難できる体制が整っている。 	1	2	3	4	5	1	2	3
7	<p>高根沢町は、「健康寿命（※1）を延ばす」まちづくりが進んでいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のライフステージや生活環境に合った運動や健康づくりに取り組むことができる環境がある。 ・健康診断の受診によって疾病予防につながっている。 ・感染症に対する予防や対策などの体制が整っている。 <p>※1 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間</p>	1	2	3	4	5	1	2	3

(3) 魅力・活力分野

NO.	質問	実感度					重要度		
		そ う 感 じ る	そ ど う 感 じ る	そ ど う 感 じ ら か と い う と	そ ど う 感 じ ら か と い う と	そ う 感 じ な い	わ か ら な い	重 要 で あ る	重 要 で な い
8	<p>高根沢町は、「活力ある農業」を振興できていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における農業の現状と課題が共有され、地域に合った農業支援が行われている。 ・農業の担い手の育成・確保ができています。 ・環境負荷の軽減に配慮した循環型農業が推進されている。 	1	2	3	4	5	1	2	3
9	<p>高根沢町は、「魅力的なまち」ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用し、賑わいを創出するイベントが充実している。 ・創業希望者が安心して創業できるまちである。 ・中小企業や高根沢町へ進出予定の企業へのサポート体制が整っている。 	1	2	3	4	5	1	2	3
10	<p>高根沢町は、「情報がつながる環境」が整っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のウェブサイトやSNS等を活用した情報発信が充実している。 ・町の魅力が広く分かりやすく発信され、幅広い地域・年代に訴求されている。 	1	2	3	4	5	1	2	3

(4) 環境・社会基盤分野

NO.	質問	実感度					重要度		
		そ う 感 じ る	そ ど う 感 じ る	そ ど ち ら か と い う と	そ ど ち ら か と い う と	そ う 感 じ な い	わ か ら な い	重 要 で あ る	重 要 で な い
11	<p>高根沢町は、「魅力ある住環境」が整っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の利便性や安全性に配慮された住環境の整備が進んでいる。 ・安全で快適な道路網が整備されている。 ・利用者のニーズに合った公共交通サービスが提供されている。 	1	2	3	4	5	1	2	3
12	<p>高根沢町は、「水の安定した供給・循環」が図られていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な水が安定的に供給されている。 ・公共下水道の整備が進んでいる。 	1	2	3	4	5	1	2	3
13	<p>高根沢町は、「環境に配慮したしくみ」が定着していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量・リサイクルや資源の循環が進んでいる。 ・「自分たちの地域を自分たちできれいにする」意識が高まり、美化活動や環境保全活動が積極的に行われている。 ・町全体で省エネ、再生エネルギー活用、脱炭素化に取り組んでいる。 	1	2	3	4	5	1	2	3

(5) 安全・安心分野

NO.	質問	実感度					重要度		
		そ う 感 じ る	そ ど う 感 じ る	そ ど う 感 じ ら な い と	そ ど う 感 じ ら な い と	そ う 感 じ な い	わ か ら な い	重 要 で あ る	重 要 で な い
14	<p>高根沢町は、災害から「生命」を守るまちづくりが進んでいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害などに備えた防災体制が整備されている。 ・町民の防災意識が高まっている。 ・地域の防災力が向上している。 	1	2	3	4	5	1	2	3
15	<p>高根沢町は、「安全に暮らせるまち」ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや高齢者に配慮した防犯・交通安全意識が高まっている。 ・地域ぐるみの体制が強化され、犯罪や交通事故の数が減っている。 ・消費生活に関する相談体制が充実したことで、トラブルに巻き込まれない意識や環境ができている。 	1	2	3	4	5	1	2	3

(2) 【子ども・教育・生涯学習分野】の教育・生涯学習に関する取り組みで評価しているものを教えてください。(該当するもの全てに○)

1. 外国語指導助手 (ALT)、日本人英語指導者 (JTE) を活用した英語教育の充実
2. ICT 教育の推進
3. キャリア教育の推進
4. 学校給食を通じた食育・地産地消
5. 教育相談体制の充実 (スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置)
6. 小・中学校の給食費減免
7. 特別支援教育の充実
8. 不登校児童生徒のためのフリースペース「ひよこの家」の運営
9. 通学路の安全性向上
10. 図書館 (電子図書館) の充実
11. 生涯学習学びの事業の充実
12. 町民ホール自主事業の開催
13. 体力・健康づくり事業 (ラジオ体操普及、ウォーキング大会、元気あっぷハーフマラソン大会等)
14. 男女共同参画の社会環境づくり
15. その他 ()

(3) 【健康・サポート分野 (高齢者・障害者・健康づくり)】に関する取り組みで評価しているものを教えてください。(該当するもの全てに○)

1. 高齢者の通いの場づくり
2. 高齢者の外出支援 (80 歳以上の方の「たんたん号」の利用料を無償化)
3. 高齢者配食サービス
4. 高齢者のみまもり支援 (ひとり暮らし高齢者等の自宅への緊急通報装置の貸し出し・認知症の高齢者に対する GPS 探索器の貸し出し)
5. 認知症サポーターの養成
6. 障害者地域生活相談体制の整備
7. 障害のある子どもたちの自立を支援する「就学児デイサービス」
8. 障害者の就労支援
9. 障害者への地域生活支援 (移動支援や訪問入浴サービス等)
10. 災害時要支援者の支援
11. 生活習慣病予防事業
12. 健康診断結果に基づいた個別指導
13. 健康ポイント・元気あっぷポイント事業
14. その他 ()

問12 今後、高根沢町が特に優先して取り組むべきと思う項目についてお伺いします。

(1) 「子ども・教育・生涯学習分野」において、今後優先して取り組むべきと思う項目を教えてください。(該当するもの全てに○)

- | |
|--|
| 1. 安心して出産・子育てできる環境 |
| 2. 子育て相談体制と情報発信力の強化 |
| 3. 子育てにおける経済的支援の充実 |
| 4. 保育園や認定こども園等の受入枠の拡充 |
| 5. 子どもたちの学力向上 (ICT 教育・英語教育の推進) |
| 6. 子どもたちの豊かな心の育成 |
| 7. 子どもたちの体力向上・健康づくり |
| 8. 学校給食を通じた食育 |
| 9. 安心して学習できる環境づくり (相談支援、特別支援教育、不登校対策の充実) |
| 10. 子どもたちの交通事故・防犯対策 |
| 11. 身近で学べる生涯学習環境の充実 |
| 12. 図書館におけるサービスの充実 |
| 13. 文化・歴史を活用した郷土愛の醸成 |
| 14. スポーツに親しみ健康づくりができる環境 |
| 15. 男女共同参画の社会環境づくり |
| 16. その他 () |

(2) 「健康・サポート分野 (高齢者・障害者・健康づくり)」において今後優先して取り組むべきと思う項目を教えてください。(該当するもの全てに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 高齢者が気軽に交流できる場所 (通いの場) の充実 |
| 2. 高齢者の就労支援 (高齢者が活躍できる場の創出) |
| 3. 高齢者向け施設サービスの充実 |
| 4. 高齢者の見守り体制の充実 |
| 5. 介護における相談体制・サービスの充実 |
| 6. 障害者の日常生活の支援の充実 |
| 7. 障害者の自立に向けた就労機会の確保 |
| 8. 障害者に係る相談体制・サービスの充実 |
| 9. 災害時の要支援者支援 |
| 10. 生活習慣病予防の推進 |
| 11. 住民の健康づくり |
| 12. 感染症に備えた体制の強化 |
| 13. その他 () |

